

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

**警告**

- カーポートは簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 設置場所の確認をしてください。
 - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
 - ・施工場所の気象条件（風、雪など）に合った製品かどうか確認してください。
 - ・建物の屋根からの雪の落下を、直接受けない位置かどうか確認してください。
 - ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込み深さを確保してください。
- 崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。また、片流れタイプの場合、風当たりの強い場所ではサポートを取付けるとともに、風にあおられない向きに取付けてください。

**ポイント**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 柱の移動は弊社指定範囲内にしてください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆりみがないか確認してください。
- 各部材に弊社の指定以外の穴加工をしないでください。強度低下の恐れがあります。
- シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960

🔑 ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事について>

⚠ 注意

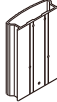
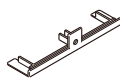
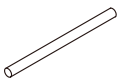
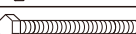
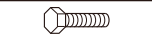
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

🔑 ポイント

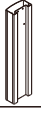
- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。

■梱包明細表

【1】 柱セット 吊り用・1本入り

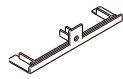
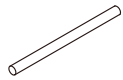
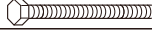
名 称	略 図	員 数					
		H23			H26		
		42・45・48用	54・60用	70・80用	42・45・48用	54・60用	70・80用
柱		1	1	1	1	1	1
柱力バー		1	1	1	1	1	1
力骨A		1	1	1	1	1	1
力骨B		1	1	1	1	1	1
柱キャップ		1	1	1	1	1	1
柱力バー 小口キャップ		1	1	1	1	1	1
アンカー棒		1	1	1	1	1	1
【1-1】 φ4×14トラスタッピンネジ3種		3	3	3	3	3	3
【1-2】 φ4×35トラスタッピンネジ4種		1	1	1	1	1	1
【1-3】 M8平座金		3	4	4	3	4	4
【1-4】 M8バネ座金		7	8	8	7	8	8
【1-5】 M8×130六角ボルト		4	—	—	4	—	—
【1-6】 M8×230六角ボルト		—	4	4	—	4	4
【1-7】 M8×30六角ボルト		3	4	4	3	4	4
取扱説明書	—	1	1	1	1	1	1

【2】 柱セット 置き用・1本入り

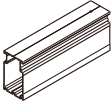
名 称	略 図	員 数					
		H23			H26		
		27~48用	54・60用	70・80用	27~48用	54・60用	70・80用
柱		1	1	1	1	1	1
柱力バー		1	1	1	1	1	1
力骨A		1	1	1	1	1	1
力骨B		1	1	1	1	1	1

■梱包明細表 つづき

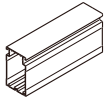
【2】柱セット 置き用・1本入り（つづき）

名 称	略 図	員 数					
		H23			H26		
		27~48用	54・60用	70・80用	27~48用	54・60用	70・80用
柱キャップ		1	1	1	1	1	1
柱カバー 小口キャップ		1	1	1	1	1	1
アンカー棒		1	1	1	1	1	1
【2-1】φ4×14トラスタッピンネジ3種		3	3	3	3	3	3
【2-2】φ×35トラスタッピンネジ4種		1	1	1	1	1	1
【2-3】M8平座金		3	4	4	3	4	4
【2-4】M8バネ座金		7	8	8	7	8	8
【2-5】M8×130六角ボルト		4	—	—	4	—	—
【2-6】M8×230六角ボルト		—	4	4	—	4	4
【2-7】M8×30六角ボルト		3	4	4	3	4	4

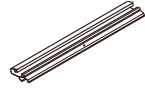
【3】吊り式梁セット

名 称	略 図	員 数								
		42用	45用	48用	54用	60・中間用	60・端部用	ワイド70/80・中間用	ワイド70・端部用	ワイド80・端部用
吊り式梁		1	1	1	1	1	2	1	2	2

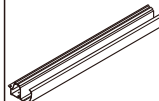
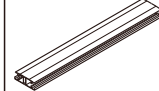
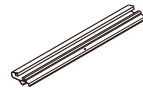
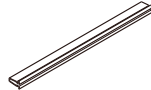
【4】置き式梁セット

名 称	略 図	員 数								
		42用	45用	48用	54用	60・中間用	60・端部用	ワイド70/80・中間用	ワイド70・端部用	ワイド80・端部用
置き式梁		1	1	1	1	1	2	1	2	2

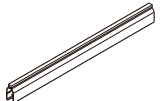
【5】長さセット

名 称	略 図	員 数		
		50用	57用	14用
桁		2	2	2
パネル押え		14	16	4

【6】長さセット ワイド（フラット屋根には設定はありません）

名 称	略 図	員 数		
		50用	57用	14用
桁		2	2	2
棟木		1	1	1
パネル押え		14	16	4
グレチャン		14	16	4

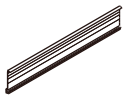
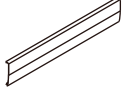
【7】母屋セット

名 称	略 図	員 数		
		6本入	21本入	24本入
母屋		6	21	24

【8】側枠セット 2本入り

名 称	略 図	員 数				
		24用	27用	30用	54用	60用
側枠		2	2	2	2	2
垂木カバー		2	2	2	4	4

【9】側枠セット 2本入り (フラット屋根)

名 称	略 図	員 数		
		24用	27用	30用
側枠		2	2	2
側枠カバー		2	2	2
端部垂木		2	2	2
端部垂木カバー		4	4	4

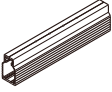
【10】垂木セット 3本入り

名 称	略 図	員 数				
		24用	27用	30用	54用	60用
垂木		3	3	3	3	3
垂木カバー		3	3	3	6	6

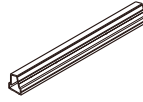
【11】垂木セット 4本入り

名 称	略 図	員 数				
		24用	27用	30用	54用	60用
垂木		4	4	4	4	4
垂木カバー		4	4	4	8	8

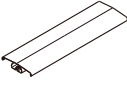
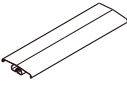
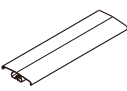
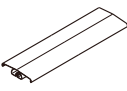
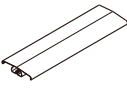
【12】梁連結スリーブセット

名 称	略 図	員数
梁連結スリーブ		2
梁連結カバー		2
パターン取付シール		2
【12-1】 M8平座金		16
【12-2】 M8バネ座金		16
【12-3】 M8×30六角ボルト		16
【12-4】 φ4×10丸サラタップピンネジ3種		4

【13】桁連結スリーブセット(商品色と材材の色は異なります。)

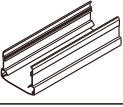
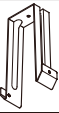
名 称	略 図	員 数	
		レギュラー用	ワイド用
桁連結スリーブ		2	2

【14】合掌棟木セット

名 称	略 図	員 数		
		50用	57用	14用
合掌棟木50用端部		2	—	—
合掌棟木57用端部		—	2	—
合掌棟木14用端部		—	—	1
合掌棟木50用中間		1	—	—
合掌棟木57用中間		—	1	—

■梱包明細表 つづき

【15】横樋セット

名 称	略 図	員 数	
		標準	ロング
横樋		1	1
横樋固定部品 水上一小		1	1
横樋固定部品 水下一大		1	1
横樋固定プレート		2	2
ばたつき防止部品		2	2
横樋止水板		2	2
横樋端部キャップ		2	2

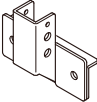
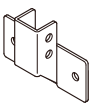
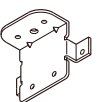
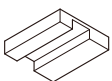
【15】横樋セット (つづき)

名 称	略 図	員 数	
		標準	ロング
雨樋ジョイナー		3	4
横樋アタッチメント		3	4
横樋穴ふさぎキャップ		2	3
アタッチメントパッキン		5	7
M4用ターンナット		2	2
【15-1】φ4×20ナベタッピンネジ 2種 G=5		8	8
【15-2】φ4×12トラスタッピンネジ3種		20	24
【15-3】φ4×25ナベタッピンネジ3種		2	2
【15-4】M4バネ座金		2	2

【16】屋根接続部品セット (フラット屋根はレギュラーの部品を使用します)

名 称	姿 図	員 数					
		レギュラー		ワイド			
		50用	57用	5450用	6050用	5457用	6057用
吊束・梁固定金具A		4	4	—	—	—	—
吊束・梁固定金具B-L		—	—	4	4	4	4
吊束・梁固定金具B-R		—	—	4	4	4	4
吊束・梁固定金具裏板		4	4	8	8	8	8
吊束A		4	4	—	—	—	—
吊束B54用		—	—	4	—	4	—
吊束B60用		—	—	—	4	—	4

【16】屋根接続部品セット（つづき）

名 称	姿 図	員 数					
		レギュラー		ワイド			
		50用	57用	5450用	6050用	5457用	6057用
吊束C		—	—	4	4	4	4
吊束D54用		—	—	4	—	4	—
吊束D60用		—	—	—	4	—	4
吊束キャップ		4	4	8	8	8	8
吊束フレ止め金具		4	4	8	8	8	8
吊束接続金具		—	—	4	4	4	4
吊束カバー1		—	—	4	4	4	4
吊束カバー2		—	—	4	4	4	4
吊束・桁固定金具		4	4	—	—	—	—
吊束・桁固定金具φ33用		—	—	4	4	4	4
吊束・桁接続裏板		4	4	4	4	4	4
置き式桁固定金具		4	8	4	4	8	8
置き式梁接続スペーサー		2	4	2	2	4	4
【16-1】φ5×12トラスタッピンネジ3種		26	52	26	26	52	52
【16-2】φ4×14サラタッピンネジ3種		—	—	8	8	8	8
【16-3】φ4×45サラタッピンネジ2種 G=5		—	—	4	4	4	4
【16-4】φ4×10ナベタッピンネジ3種		4	4	4	4	4	4
【16-5】φ4×16ナベドリルネジ		4	4	—	—	—	—
【16-6】M8×50座金組込六角ボルト（PW）		8	8	30	30	30	30

■梱包明細表 つづき

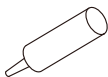
【16】屋根接続部品セット (つづき)

名 称	姿 図	員 数					
		レギュラー		ワイド			
		50用	57用	5450用	6050用	5457用	6057用
【16-7】 M8×55座金組込六角ボルト (PW)		—	—	6	6	6	6
【16-8】 M8×20座金組込六角ボルト (PW)		13	13	22	22	22	22
【16-9】 M8×18六角ボルト		13	17	17	17	17	17
【16-10】 M8×50座金組込六角ボルト (PW) ・ロック付		4	4	4	4	4	4
【16-11】 M8×55座金組込六角ボルト (PW) ・ロック付		—	—	2	2	2	2
【16-12】 M8×20座金組込六角ボルト (PW) ・ロック付		4	4	4	4	4	4
【16-13】 M8袋ナット		17	21	30	30	34	34
【16-14】 M8平座金		26	30	65	65	69	69
【16-15】 M8バネ座金		26	30	65	65	69	69
【16-16】 M8ナット		8	8	34	34	34	34

【17】組立部品セット レギュラー用

名 称	略 図	員 数					
		2450用	2750用	3050用	2457用	2757用	3057用
桁端部キャップ L		2	2	2	2	2	2
桁端部キャップ R		2	2	2	2	2	2
桁止水板 L		2	2	2	2	2	2
桁止水板 R		2	2	2	2	2	2
垂木排水部品		12	12	12	14	14	14
側枠排水部品		4	4	4	4	4	4
側枠排水部品小口キャップ L レギュラー用		2	2	2	2	2	2
側枠排水部品小口キャップ R レギュラー用		2	2	2	2	2	2
母屋固定部品		30	30	30	36	36	36
母屋固定部品 レギュラー端部用		12	12	12	12	12	12

【17】組立部品セット レギュラー用（つづき）

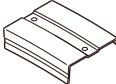
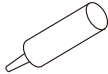
名 称	略 図	員 数					
		2450用	2750用	3050用	2457用	2757用	3057用
ブチル系シーリング材		1	1	1	1	1	1
穴ふさぎシール		2	2	2	4	4	4
【17-1】φ4×14ナベタッピンネジ 3種		39	39	39	44	44	44
【17-2】φ4×12トラスタッピンネジ 4種		26	26	26	26	26	26
【17-3】φ4×20ナベタッピンネジ 2種 G=5		18	18	18	18	18	18
【17-4】φ4×14 WH D=10 ナベタッピンネジ2種		87	96	130	98	108	145
【17-5】φ4×16ナベドリルネジ		17	17	17	19	19	19
取付説明書	—	1	1	1	1	1	1

【18】組立部品セット フラット屋根用

名 称	略 図	員 数					
		2450用	2750用	3050用	2457用	2757用	3057用
桁端部キャップ L		2	2	2	2	2	2
桁端部キャップ R		2	2	2	2	2	2
桁止水板 L		2	2	2	2	2	2
桁止水板 R		2	2	2	2	2	2
垂木排水部品		16	16	16	18	18	18
母屋固定部品		30	30	30	36	36	36
母屋固定部品 レギュラー端部用		12	12	12	12	12	12
側枠用バック材A(2本入)		1	1	1	1	1	1
側枠用バック材B(4個入)		1	1	1	1	1	1
側枠スペーサー		22	24	24	22	24	24

■梱包明細表 つづき

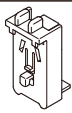
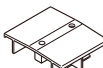
【18】組立部品セット フラット屋根用 (つづき)

名 称	略 図	員 数					
		2450用	2750用	3050用	2457用	2757用	3057用
側枠パッキン		2	2	2	2	2	2
端部垂木棟キャップ		2	2	2	2	2	2
ブチル系シーリング材		1	1	1	1	1	1
穴ふさぎシール		2	2	2	4	4	4
【18-1】φ4×14ナベタッピンネジ 3種		39	39	39	44	44	44
【18-2】φ4×12トラスタッピンネジ 4種		26	26	26	26	26	26
【18-3】φ4×20ナベタッピンネジ 2種 G=5		17	17	17	17	17	17
【18-4】φ4×14 WH D=10 ナベタッピンネジ2種		103	120	152	115	133	169
【18-5】φ4×16ナベドリルネジ		43	46	46	46	48	48
取付説明書	—	1	1	1	1	1	1

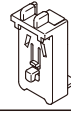
【19】組立部品セット ワイド用

名 称	姿 図	員 数			
		5450用	6050用	5457用	6057用
桁端部キャップ L ワイド用		2	2	2	2
桁端部キャップ R ワイド用		2	2	2	2
桁止水板 L ワイド用		2	2	2	2
桁止水板 R ワイド用		2	2	2	2
垂木排水部品		12	12	14	14
側枠排水部品		4	4	4	4
側枠排水部品小口キャップ L ワイド用		2	2	2	2

【19】組立部品セット ワイド用（つづき）

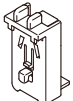
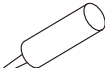
名 称	姿 図	員 数			
		5450用	6050用	5457用	6057用
側枠排水部品小口キャップ R ワイド用		2	2	2	2
母屋固定部品		84	84	96	96
棟木端部キャップ		2	2	2	2
ブチル系シーリング材		2	2	2	2
穴ふさぎシール		2	2	4	4
【19-1】φ4×14ナベタッピンネジ3種		39	39	44	44
【19-2】φ4×20ナベタッピンネジ2種 G=5		18	18	18	18
【19-3】φ4×25トラスタッピンネジ3種		4	4	4	4
【19-4】φ4×35トラスタッピンネジ3種		6	6	7	7
【19-5】φ4×14 WH D=10 ナベタッピンネジ3種		186	250	208	280
【19-6】M4平座金		10	10	11	11
【19-7】φ4×16ナベドリルネジ		17	17	19	19
取付説明書	—	1	1	1	1

【20】組立部品セット レギュラー連棟用

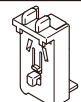
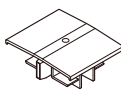
名 称	略 図	員 数					
		2450用	2750用	3050用	2457用	2757用	3057用
垂木排水部品		14	14	14	16	16	16
母屋固定部品		42	42	42	48	48	48
桁連結カバー レギュラー		2	2	2	2	2	2
ブチル系シーリング材		1	1	1	1	1	1
穴ふさぎシール		2	2	2	4	4	4
【20-1】φ4×14ナベタッピンネジ3種		30	30	30	35	35	35
【20-2】φ4×14トラスタッピンネジ4種		14	14	14	14	14	14
【20-3】φ4×14 WH D=10 ナベタッピンネジ2種		76	84	115	87	96	130
【20-4】φ4×16ナベドリルネジ		15	15	15	17	17	17

■ 梱包明細表 つづき

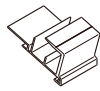
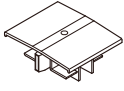
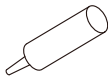
【21】 組立部品セット フラット連棟用

名 称	略 図	員 数					
		2450用	2750用	3050用	2457用	2757用	3057用
垂木排水部品(フラット屋根用)		14	14	14	16	16	16
母屋固定部品		42	42	42	48	48	48
桁連結カバー レギュラー		2	2	2	2	2	2
ブチル系シーリング材		1	1	1	1	1	1
穴ふさぎシール		2	2	2	4	4	4
【21-1】 φ4×14ナベタッピンネジ3種		30	30	30	35	35	35
【21-2】 φ4×14トラスタッピンネジ4種		13	13	13	13	13	13
【21-3】 φ4×14 WH D=10 ナベタッピンネジ2種		84	100	100	96	114	146
【21-4】 φ4×16ナベドリルネジ		15	15	15	17	17	17

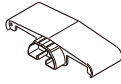
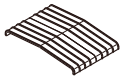
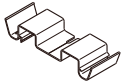
【22】 組立部品セット ワイド連棟用

名 称	略 図	員 数			
		5450用	6050用	5457用	6057用
垂木排水部品		14	14	16	16
母屋固定部品		84	84	96	96
桁連結カバー ワイド		2	2	2	2
棟木連結キャップ		1	1	1	1
ブチル系シーリング材		2	2	2	2
穴ふさぎシール		2	2	4	4
【22-1】 φ4×14ナベタッピンネジ3種		30	30	35	35
【22-2】 φ4×14トラスタッピンネジ3種		14	14	14	14
【22-3】 φ4×35トラスタッピンネジ3種		7	7	8	8
【22-4】 φ4×14 WH D=10 ナベタッピンネジ2種		164	220	186	250
【22-5】 M4平座金		7	7	8	8
【22-6】 φ4×16ナベドリルネジ		15	15	17	17

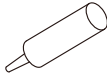
【23】組立部品セット14連棟用

名 称	略 図	員 数		
		レギュラー用	ワイド用	フラット屋根用
垂木排水部品		4	4	4
母屋固定部品		12	24	12
桁連結カバー レギュラー用		2	—	2
桁連結カバー ワイド用		—	2	—
棟木連結キャップ		—	1	—
ブチル系シーリング材		1	1	1
穴ふさぎシール		2	2	2
【23-1】φ4×14ナベタッピンネジ3種		8	8	8
【23-2】φ4×14トラスタッピンネジ3種		14	14	13
【23-3】φ4×35トラスタッピンネジ3種		—	2	—
【23-4】φ4×14 WH D=10 ナベタッピンネジ2種		32	65	37
【23-5】M4平座金		—	2	—
【23-6】φ4×16ナベドリルネジ		4	4	4

【24】合掌棟木取付部品セット

名 称	略 図	員 数		
		50用	57用	14用
合掌棟木端部キャップ		2	2	—
合掌棟木中間キャップ		5	5	1
合掌棟木水切り部品		3	3	—
合掌棟木取付部品		7	8	2

【24】合掌棟木取付部品セット (つづき)

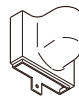
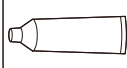
名 称	略 図	員 数		
		50用	57用	14用
合掌棟木固定スクリュー		7	8	7
合掌棟木スペーサー		13	14	2
ブチル系シーリング材		1	1	—
【24-1】φ4×8トラス タッピンネジ3種		7	8	2
【24-2】φ4×20トラス タッピンネジ2種 G=5		1	1	—

■梱包明細表 つづき

【25】 雨樋部品セット

名 称	略 図	員 数	
		縦樋 1本入り	内蔵 1本入り
縦樋 L=3600		1	—
縦樋 L=1100		—	1
雨樋アタッチメント		1	1
雨樋穴ふさぎキャップ		1	1
アタッチメントパッキン		2	2
92° エルボ		2	3

【25】 雨樋部品セット (つづき)

名 称	略 図	員 数	
		縦樋 1本入り	内蔵 1本入り
ドレンエルボ		1	1
雨樋でんでん		3	—
排水部品		—	1
雨受け		—	1
接着剤		1	1
【25-1】 φ4×12トラス タッピンネジ3種		4	7
【25-2】 φ4×19ナベドリルネジ		3	—
【25-3】 φ4×35ナベ タッピンネジ3種		3	—

【26】 屋根パネルセット ポリカ

名 称	員 数								
	1枚入り	3枚入り	4枚入り	1枚入り	3枚入り	4枚入り	1枚入り	3枚入り	4枚入り
屋根パネル 24用	1	3	4	—	—	—	—	—	—
屋根パネル 27・54用	—	—	—	1	3	4	—	—	—
屋根パネル 30・60用	—	—	—	—	—	—	1	3	4

【27】 屋根パネルセット 熱線遮断ポリカ

名 称	員 数								
	1枚入り	3枚入り	4枚入り	1枚入り	3枚入り	4枚入り	1枚入り	3枚入り	4枚入り
屋根パネル 24用	1	3	4	—	—	—	—	—	—
屋根パネル 27・54用	—	—	—	1	3	4	—	—	—
屋根パネル 30・60用	—	—	—	—	—	—	1	3	4

【28】 屋根パネルセット アクアシャインポリカ

名 称	員 数								
	1枚入り	3枚入り	4枚入り	1枚入り	3枚入り	4枚入り	1枚入り	3枚入り	4枚入り
屋根パネル 24用	1	3	4	—	—	—	—	—	—
屋根パネル 27・54用	—	—	—	1	3	4	—	—	—
屋根パネル 30・60用	—	—	—	—	—	—	1	3	4

【29】 屋根接続部品セット 柱付けブラケット（フラット屋根はレギュラーの部品を使用します）

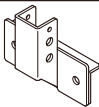
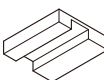
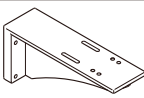
オプション

名 称	略 図	員 数							
		レギュラー		ワイド					
		Sブラケット		Sブラケット				Wブラケット	
		50用	57用	5450用	6050用	5457用	6057用	50用	57用
吊束・梁固定金具A		2	2	—	—	—	—	—	—
吊束・梁固定金具B-L		—	—	2	2	2	2	—	—
吊束・梁固定金具B-R		—	—	2	2	2	2	—	—
吊束・梁固定金具裏板		2	2	4	4	4	4	—	—
吊束A		2	2	—	—	—	—	—	—
吊束B54用		—	—	2	—	2	—	—	—
吊束B60用		—	—	—	2	—	2	—	—
吊束C		—	—	2	2	2	2	—	—
吊束D54用		—	—	2	—	2	—	—	—
吊束D60用		—	—	—	2	—	2	—	—
吊束キャップ		2	2	4	4	4	4	—	—
吊束フレ止め金具		2	2	4	4	4	4	—	—
吊接続金具		—	—	2	2	2	2	—	—
吊束カバー1		—	—	2	2	2	2	—	—

■梱包明細表 つづき

【29】屋根接続部品セット 柱付けブラケット（つづき）

オプション

名 称	略 図	員 数							
		レギュラー		ワイド					
		Sブラケット		Sブラケット				Wブラケット	
		50用	57用	5450用	6050用	5457用	6057用	50用	57用
吊束カバー2		—	—	2	2	2	2	—	—
吊束・桁固定金具		2	2	—	—	—	—	—	—
吊束・桁固定金具φ33用		—	—	2	2	2	2	—	—
吊束・桁接続裏板		2	2	2	2	2	2	—	—
置き式桁固定金具		4	8	4	4	8	8	4	8
置き式梁接続スペーサ		2	4	2	2	4	4	2	4
置き式桁固定金具接続ボルト		—	—	4	4	8	8	4	8
柱・桁置き部品1台用		1	1	—	—	—	—	—	—
柱・桁置き部品2台用		—	—	1	1	1	1	2	2
柱・桁置き部品裏板		1	1	1	1	1	1	2	2
柱・桁置き部品スペーサ		1	1	1	1	1	1	2	2
柱・桁置き部品接続ボルト		—	—	2	2	2	2	—	—

【29】 屋根接続部品セット 柱付けブラケット (つづき)

オプション

名 称	略 図	員 数							
		レギュラー		ワイド					
		Sブラケット		Sブラケット				Wブラケット	
		50用	57用	5450用	6050用	5457用	6057用	50用	57用
【29-1】 $\phi 5 \times 12$ トラスタッピンネジ3種		26	52	26	26	52	52	26	52
【29-2】 $\phi 4 \times 12$ トラスタッピンネジ3種		1	1	1	1	1	1	2	2
【29-3】 $\phi 4 \times 10$ ナベタッピンネジ3種		2	2	2	2	2	2	—	—
【29-4】 $\phi 4 \times 16$ ナベドリルネジ		2	2	—	—	—	—	—	—
【29-5】 $\phi 4 \times 14$ サラタッピンネジ3種		—	—	4	4	4	4	—	—
【29-6】 $\phi 4 \times 45$ サラタッピンネジ2種 G=5		—	—	2	2	2	2	—	—
【29-7】 M8×50座金組込六角ボルト (PW)		8	8	19	19	19	19	8	8
【29-8】 M8×55座金組込六角ボルト (PW)		—	—	3	3	3	3	—	—
【29-9】 M8×20座金組込六角ボルト (PW)		6	6	11	11	11	11	—	—
【29-10】 M8×50座金組込六角ボルト (PW)・ロック付		2	2	2	2	2	2	—	—
【29-11】 M8×55座金組込六角ボルト (PW)・ロック付		—	—	1	1	1	1	—	—
【29-12】 M8×20座金組込六角ボルト (PW)・ロック付		2	2	2	2	2	2	—	—
【29-13】 M8×30六角ボルト		2	2	2	2	2	2	—	—
【29-14】 M8×18六角ボルト		8	13	8	8	8	8	—	—
【29-15】 M8袋ナット		12	17	19	19	24	24	8	13
【29-16】 M8バネ座金		17	22	36	36	41	41	8	13
【29-17】 M8平座金		17	22	36	36	41	41	8	13
【29-18】 M8ナット		4	4	17	17	17	17	—	—

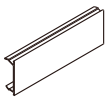
【30】 吊束後付け部品セット

オプション

名 称	略 図	員 数		
		2個入り	4個入り	8個入り
後付け用吊束・梁固定金具裏板		2	4	8
【30-1】 $\phi 5 \times 25$ トラスタッピンネジ3種		2	4	8

【31】 梁化粧セット

オプション

名 称	略 図	員 数
		2個入り
梁化粧材		2

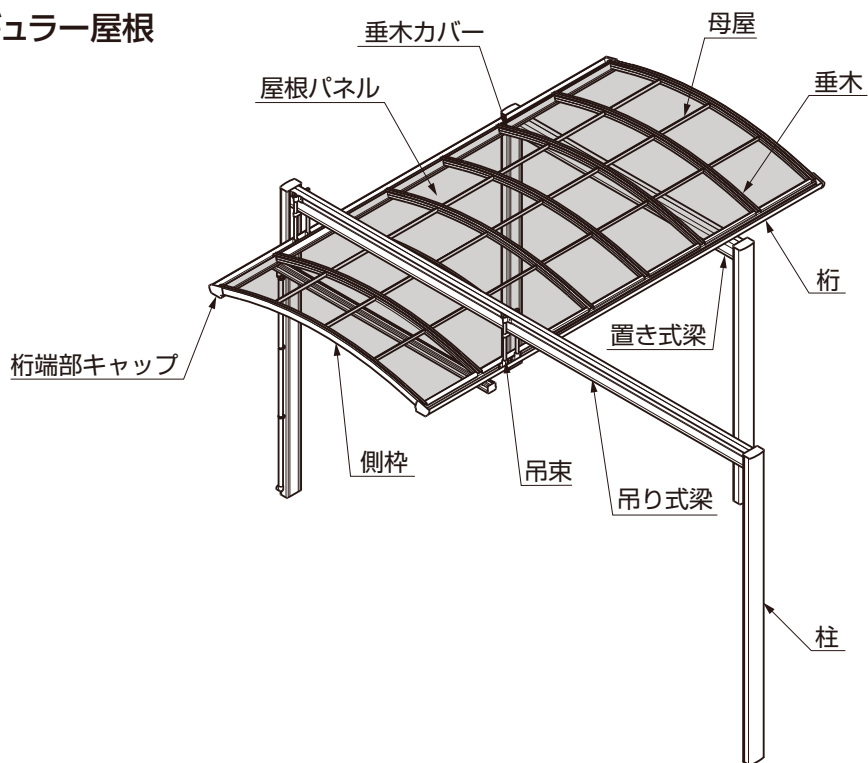
INDEX

■ 1	基本寸法と各部名称	19
1.	各部名称	19
2.	基本寸法	21
■ 2	フレーム対応角度の決定	25
1.	レギュラー屋根・フラット屋根	25
2.	ワイド屋根	27
■ 3	本体の施工	29
1.	柱・梁の取付け	29
2.	フレーム建込みと基礎の施工	31
3.	柱力バーの取付け	32
4.	桁の取付け	33
5.	垂木・側枠・端部垂木の取付け	39
6.	母屋・棟木の取付け	43
7.	屋根パネルの取付け	44
8.	屋根パネルの固定	45
9.	縦樋の取付け	49
10.	横樋の取付け	50
11.	内蔵式の場合 オプション	55
■ 4	合掌の取付け	57
1.	桁の加工	57
2.	合掌の取付け	58
■ 5	連棟の取付け	59
1.	連棟の取付け	59
■ 6	梁化粧カバーの取付け オプション	60

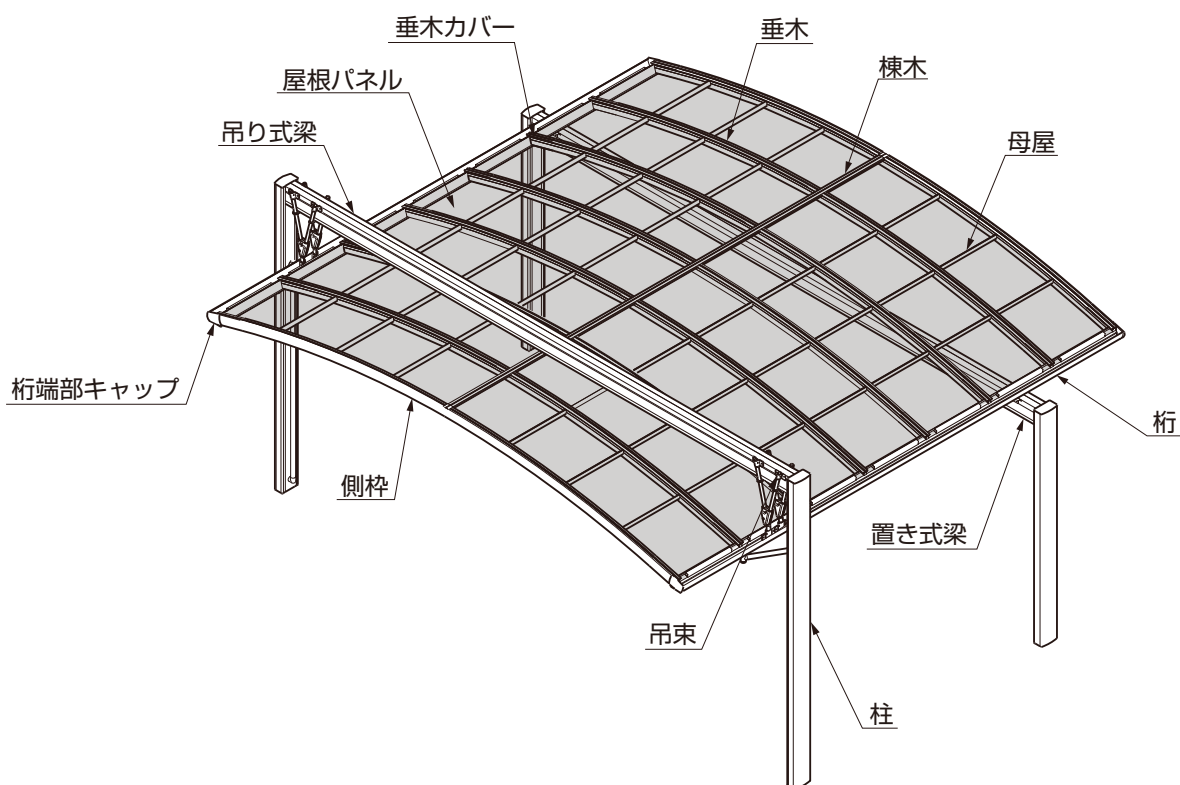
1 基本寸法と各部名称

1. 各部名称

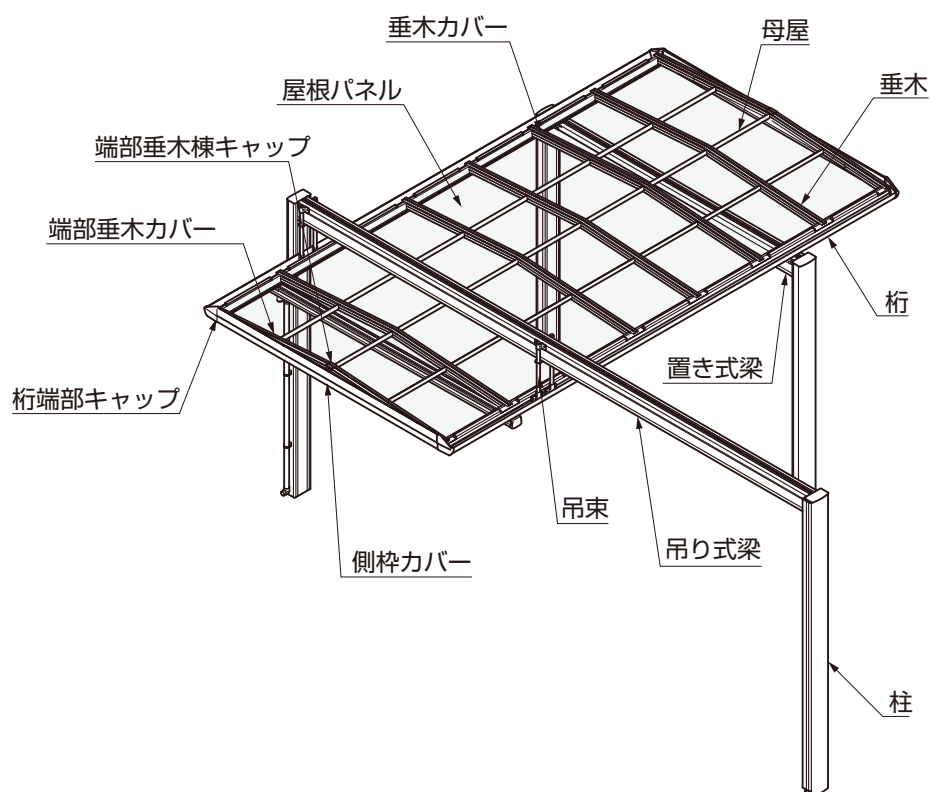
1-1 レギュラー屋根



1-2 ワイド屋根



1-3 フラット屋根



メモ

[illegible]

2. 基本寸法

※寸法はH23の場合を示し、[] 内寸法はH26の場合を示します。

※〈 〉内寸法はフラット屋根の場合を示します。

2-1 レギュラー屋根・フラット屋根 ※本図はレギュラー屋根を示しています。フラット屋根は屋根形状が異なります。

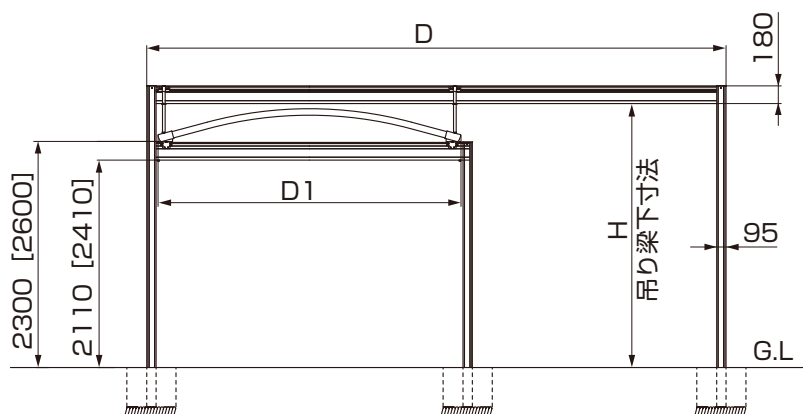


図2-1 正面基本寸法

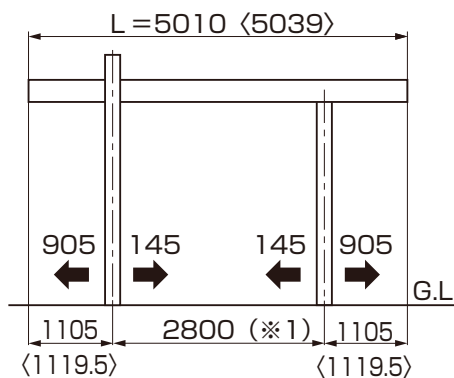


図2-2 50タイプ側面基本寸法

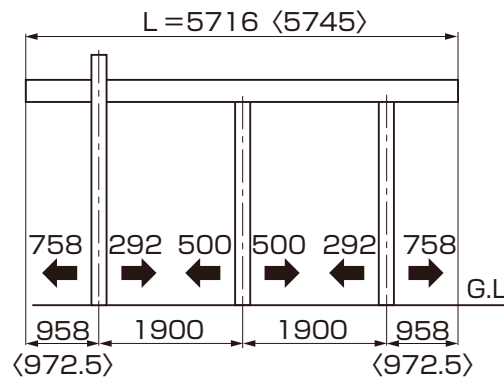


図2-3 57タイプ側面基本寸法

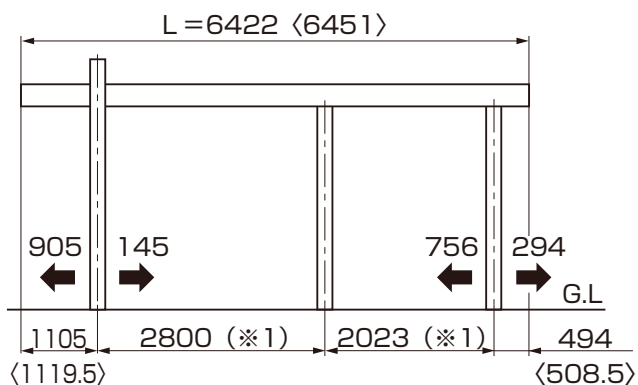


図2-4 延長 (50+14) 側面基本寸法

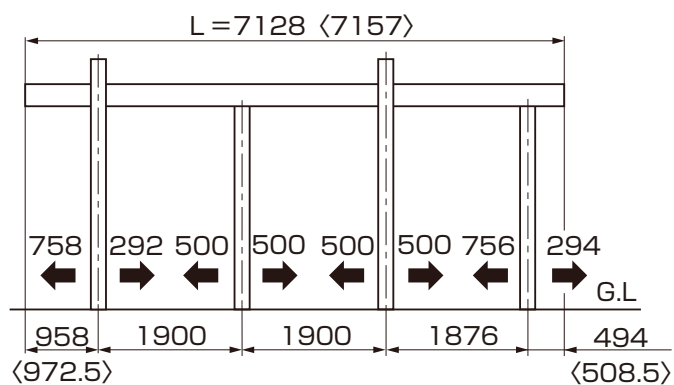


図2-5 延長 (57+14) 側面基本寸法

2. (つづき)

1

2-1 つづき

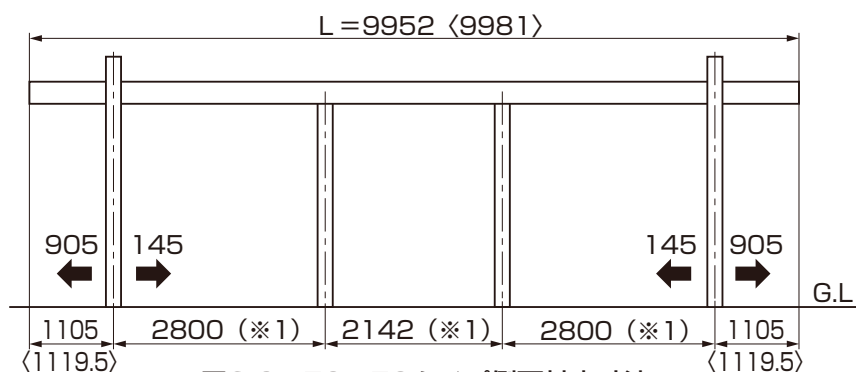


図2-6 50+50タイプ側面基本寸法

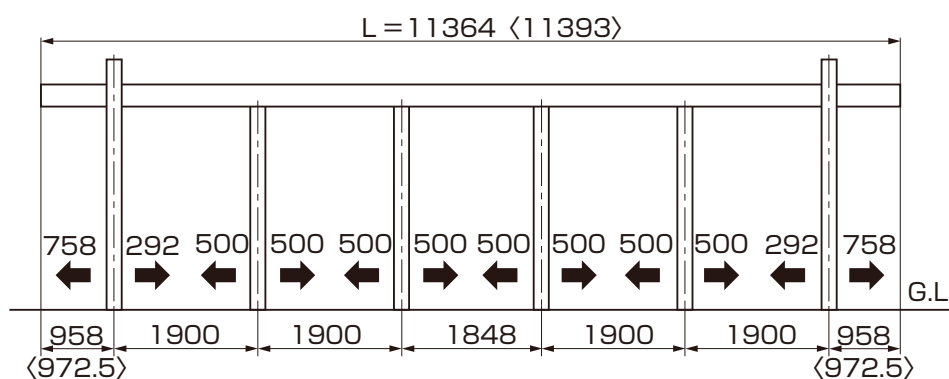


図2-7 57+57タイプ側面基本寸法

表2-1 フレーム外々寸法

フレーム呼称	寸法	D
27置		3023
30置		3323
33置		3623
36置		3923
42置・吊		4598
45置・吊		4898
48置・吊		5318
54置・吊		5918
60置・吊		6548
70置・吊		7488
80置・吊		8418

表2-2 屋根外々寸法

屋根呼称	寸法	D1
24		2473
27		2773
30		3073

表2-3 吊り梁下寸法

屋根呼称	寸法	H
24		2685 [2985]
27		
30		

ポイント

- 〈 〉 内寸法はフラット屋根の寸法を示します。
- 屋根持出し寸法は200mm以上1250以下にしてください。
- 柱芯々寸法は3800mm以内になしてください。(※1)
- ●➡ は柱移動範囲を示します。

2-2 ワイド屋根 ※寸法はH23の場合を示し、[]内寸法はH26の場合を示します。

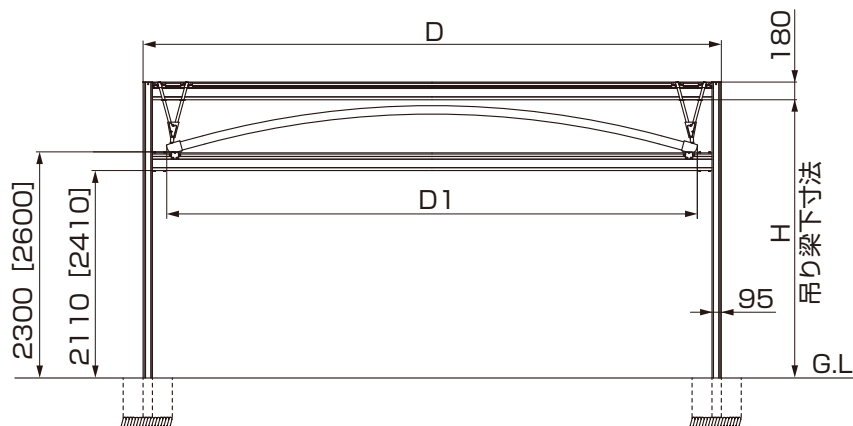


図2-8 正面基本寸法

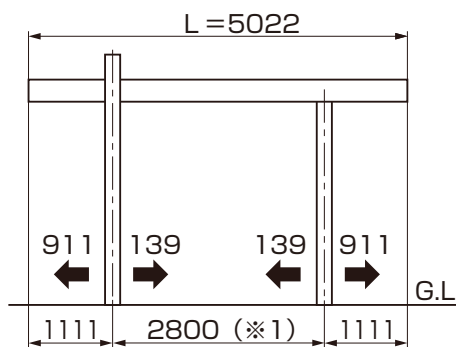


図2-9 50タイプ側面基本寸法

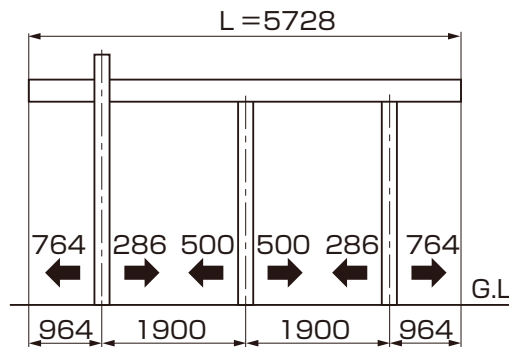


図2-10 57タイプ側面基本寸法

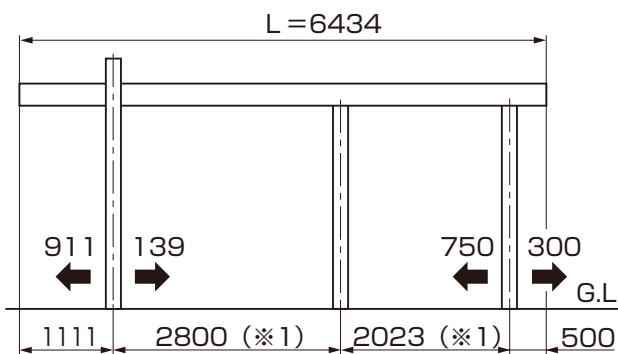


図2-11 延長 (50+14) 側面基本寸法

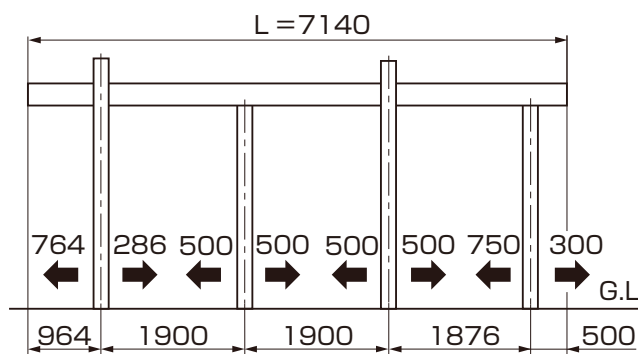


図2-12 延長 (57+14) 側面基本寸法

2. (つづき)

1

2-2 つづき

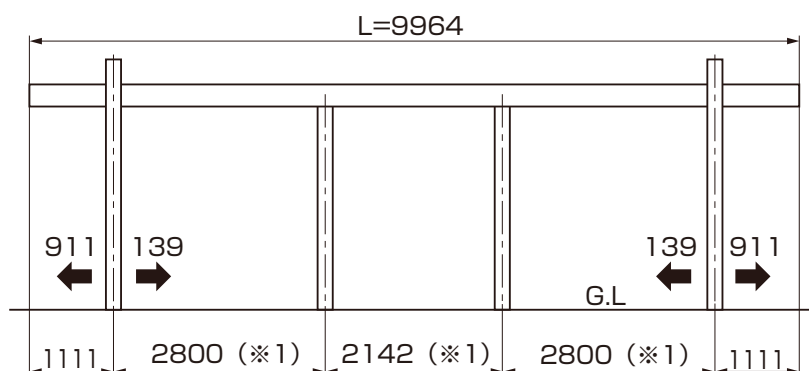


図2-13 50+50タイプ側面基本寸法

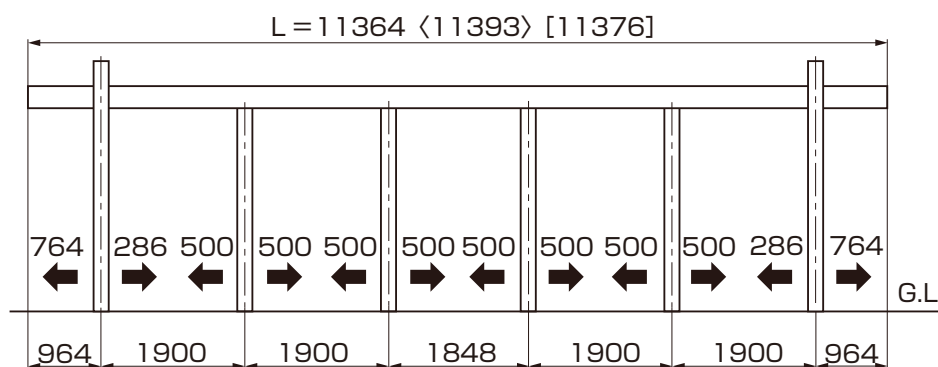


図2-14 57+57タイプ側面基本寸法

表2-4 フレーム外々寸法

寸法	D
フレーム呼称	
54置・吊	5918
60置・吊	6548
70置・吊	7488
80置・吊	8418

表2-5 屋根外々寸法

寸法	D1
屋根呼称	
54	5397
60	5997

表2-6 吊り梁下寸法

寸法	H
屋根呼称	
54	2828 [3128]
60	2910 [3210]

ポイント

- 屋根持出し寸法は200mm以上1250以下にしてください。
- 柱芯々寸法は3800mm以内にしてください。（※1）
- ➡ は柱移動範囲を示します。

2 フレーム対応角度の決定

1. レギュラー屋根・フラット屋根

1-1 外側への移動

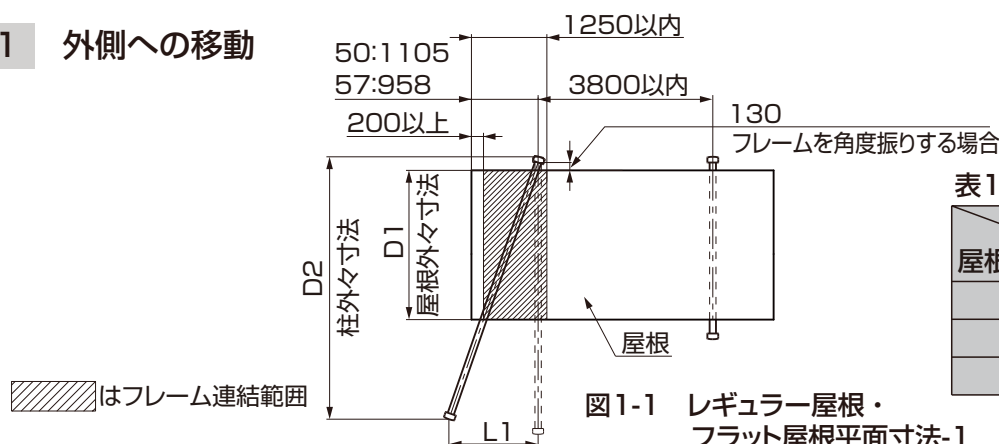


表1-1

屋根呼称	寸法	D1
24		2473
27		2773
30		3073

※柱位置は、最大移動時のものです。

表1-2 50タイプ柱位置 ※ は、置き式フレームのみの設定です。

フレーム呼称		27	30	33	36	42	45	48	54	60	70	80
屋根呼称と柱位置		(3023)	(3323)	(3623)	(3923)	(4598)	(4898)	(5318)	(5918)	(6548)	(7488)	(8418)
24	L1	754	1065	1168	1271	1503	1606	1751	1957	2173	2496	2816
	D2	2940	3136	3445	3726	4360	4642	5037	5600	6192	7074	7948
27	L1	角度振り	793	1054	1147	1356	1449	1580	1766	1961	2253	2541
	D2	不可	3239	3480	3766	4407	4692	5092	5662	6261	7155	8039
30	L1	角度振り	830	1045	1235	1320	1439	1608	1786	2052	2315	
	D2	不可	3539	3793	4441	4729	5132	5707	6312	7213	8105	

※柱位置は、最大移動時のものです。

表1-3 57タイプ柱位置 ※ は、置き式フレームのみの設定です。

フレーム呼称		27	30	33	36	42	45	48	54	60	70	80
屋根呼称と柱位置		(3023)	(3323)	(3623)	(3923)	(4598)	(4898)	(5318)	(5918)	(6548)	(7488)	(8418)
24	L1	754	908	996	1084	1281	1369	1492	1668	1853	2128	2401
	D2	2940	3210	3497	3784	4429	4716	5118	5691	6294	7192	8081
27	L1	角度振り	793	896	975	1153	1232	1343	1501	1667	1915	2161
	D2	不可	3239	3523	3812	4463	4752	5158	5736	6344	7251	8148
30	L1	角度振り	814	886	1048	1119	1220	1364	1515	1740	1963	
	D2	不可	3541	3832	4488	4779	5187	5769	6381	7293	8196	

※柱位置は、最大移動時のものです。

※ は、置き式フレームのみの設定です。

表1-4 柱を1250まで移動した場合 ※50、57タイプも柱位置は同じです。

フレーム呼称		27	30	33	36	42	45	48	54	60	70	80
屋根呼称と柱位置		(3023)	(3323)	(3623)	(3923)	(4598)	(4898)	(5318)	(5918)	(6548)	(7488)	(8418)
24	L1	754	1211	1328	1445	1709	1827	1991	2225	2472	2839	3203
	D2	2939	3109	3385	3662	4283	4559	4946	5498	6078	6943	7799
27	L1	角度振り	793	1203	1310	1549	1655	1804	2016	2239	2572	2901
	D2	不可	3239	3432	3713	4344	4624	5017	5578	6168	7047	7916
30	L1	角度振り	830	1195	1414	1511	1646	1840	2044	2348	2648	
	D2	不可	3538	3751	4390	4673	5071	5639	6235	7124	8004	

ポイント

- 屋根持出し寸法は200mm以上1250mm以下にしてください。
- 60フレーム以上の場合は、梁をスリーブで連結してください。

①図1-1、表1-1、表1-2、表1-3、表1-4を参照して、吊り式梁の角度をきめてください。

1. (つづき)

1-2 内側への移動

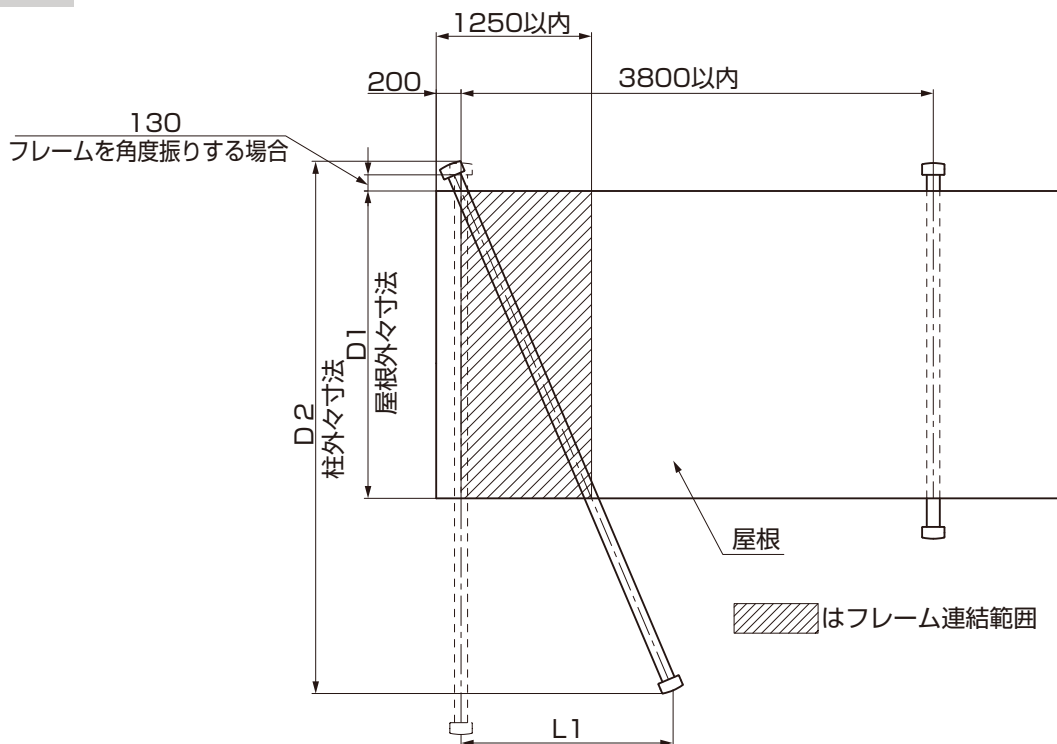


図1-2 レギュラー屋根・フラット屋根平面寸法-2

表1-5

寸法 屋根呼称	D1
24	2473
27	2773
30	3073

※柱位置は、最大移動時のものです。

※ は、置き式フレームのみの設定です。

表1-6 柱位置 ※50、57タイプも柱位置は同じです。

フレーム呼称		27	30	33	36	42	45	48	54	60	70	80
屋根呼称と柱位置		(3023)	(3323)	(3623)	(3923)	(4598)	(4898)	(5318)	(5918)	(6548)	(7488)	(8418)
24	L1	754	1211	1328	1446	1709	1827	1991	2225	2472	2839	3203
	D2	2940	3109	3385	3661	4283	4559	4945	5498	6078	6943	7799
27	L1	角度振り	793	1203	1310	1549	1655	1804	2016	2239	2572	2901
	D2	不可	3239	3432	3713	4344	4625	5017	5578	6168	7047	7916
30	L1	角度振り	830	1195	1414	1511	1646	1840	2044	2348	2648	
	D2	不可	3538	3751	4390	4673	5071	5639	6235	7124	8004	

ポイント

- 屋根持出し寸法は200mm以上1250mm以下にしてください。
- 60フレーム以上の場合は、梁をスリーブで連結してください。

① 図1-2、表1-5、表1-6を参照して、吊り式梁の角度をきめてください。

2. ワイド屋根

2-1 外側への移動

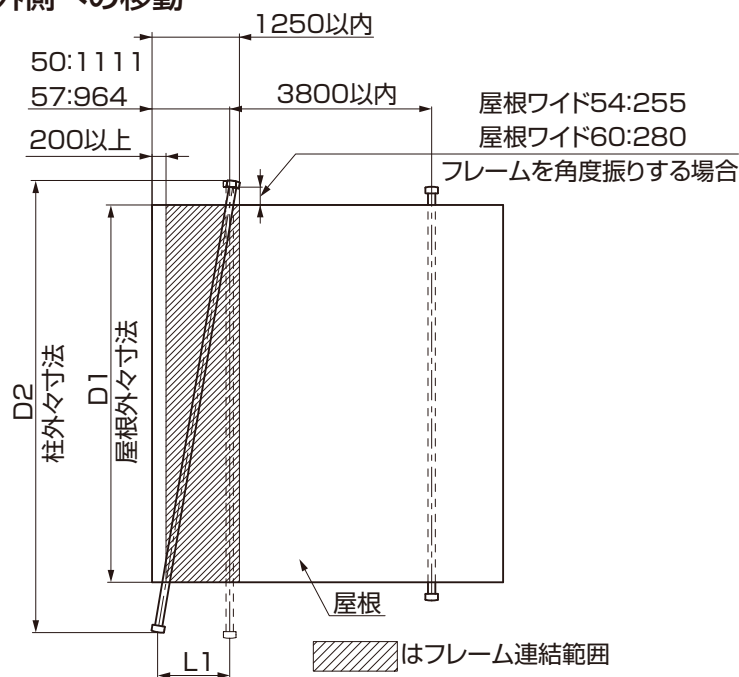


表2-1

寸法 屋根呼称	D1
54	5397
60	5997

図2-1 ワイド屋根平面寸法-1

表2-2 50タイプ柱位置 ※柱位置は、最大移動時のものです。

フレーム呼称		54	60	70	80
屋根呼称と柱位置		(5918)	(6548)	(7488)	(8418)
54	L1	角度振り	1032	1188	1343
	D2	不可	6467	7394	8311
60	L1	角度振り	1069	1208	
	D2	不可	7412	8331	

表2-3 57タイプ柱位置 ※柱位置は、最大移動時のものです。

フレーム呼称		54	60	70	80
屋根呼称と柱位置		(5918)	(6548)	(7488)	(8418)
54	L1	角度振り	869	1001	1131
	D2	不可	6485	7416	8337
60	L1	角度振り	899	1016	
	D2	不可	7435	8357	

表2-4 柱を1250まで移動した場合 ※柱位置は、最大移動時のものです。
※50、57タイプも柱位置は同じです。

フレーム呼称		54	60	70	80
屋根呼称と柱位置		(5918)	(6548)	(7488)	(8418)
54	L1	角度振り	1184	1363	1541
	D2	不可	6442	7365	8278
60	L1	角度振り	1227	1387	
	D2	不可	7388	8304	

ポイント

- 屋根持出し寸法は200mm以上1250mm以下にしてください。
- 60フレーム以上の場合は、梁をスリーブで連結してください。

①図2-1、表2-1、表2-2、表2-3を参照して、吊り式梁の角度をきめてください。

2. (つづき)

2-2 内側への移動

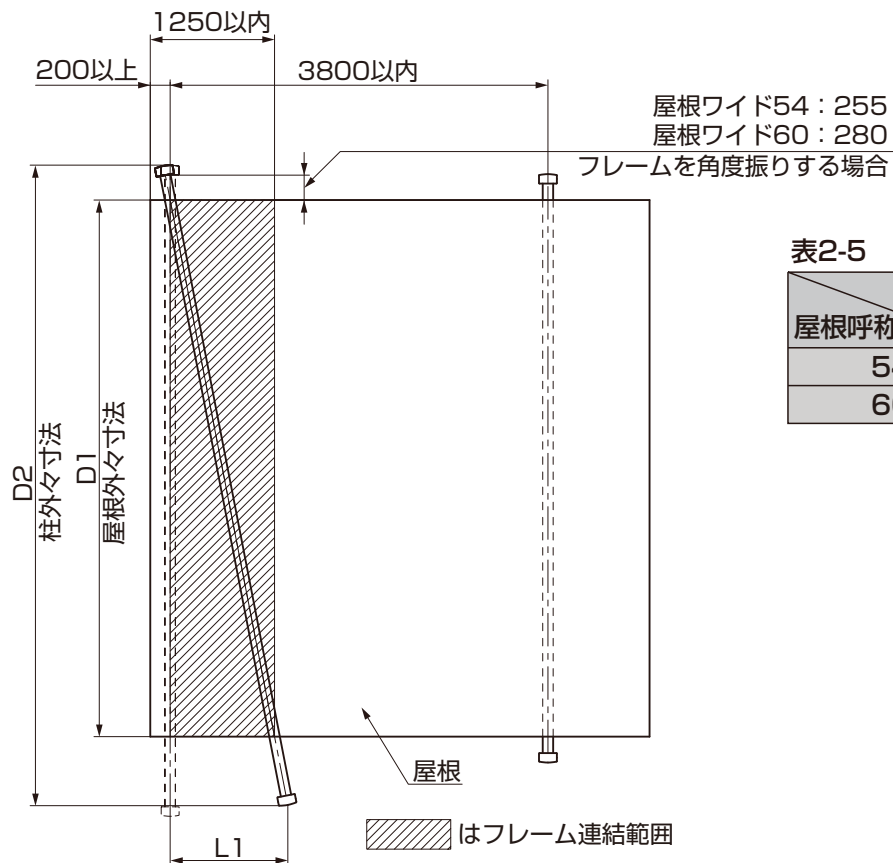


図2-2 ワイド屋根平面寸法-2

表2-5

寸法 屋根呼称	D1
54	5397
60	5997

表2-6 柱を1250まで移動した場合 ※柱位置は、最大移動時のものです。
※50、57タイプも柱位置は同じです。

フレーム呼称		54	60	70	80
屋根呼称と柱位置		(5918)	(6548)	(7488)	(8418)
54	L1	角度振り	1184	1363	1541
	D2	不可	6442	7365	8278
60	L1		角度振り	1227	1387
	D2		不可	7388	8304

ポイント

- 屋根持出し寸法は200mm以上1250mm以下にしてください。
- 60フレーム以上の場合、梁をスリーブで連結してください。

①図2-2、表2-5、表2-6を参照して、吊り式梁の角度をきめてください。

3 本体の施工

1. 柱・梁の取付け ※柱、梁は重量が重いので施工時にキズが付かないようにしてください。

1-1 吊り式柱の現場加工

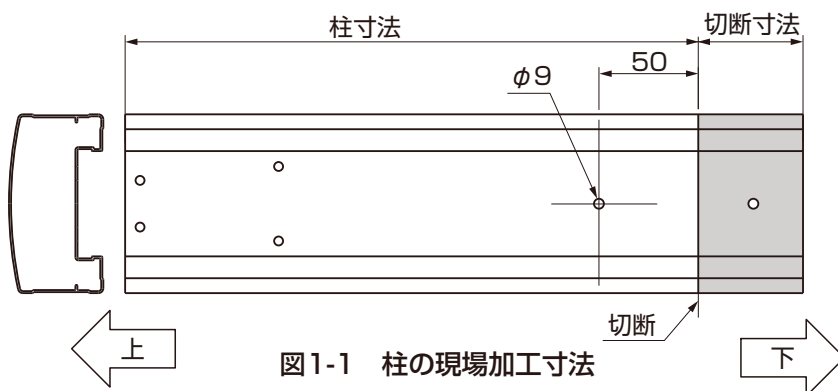


図1-1 柱の現場加工寸法

①図1-1、表1-2を参照して、柱を切断して、φ9の貫通穴をあけてください。

ポイント

- H26柱の場合の柱寸法は+300です。

※上段は切断寸法、下段は柱寸法を示します。

表1-1 吊り式柱寸法 ※H26柱の場合の柱寸法は+300

屋根 フレーム	42~48	54	60~80
レギュラー、フラット 24・27・30	切断なし 3365	225 3365	225 3365
ワイド 54		82 3508	82 3508
ワイド 60			切断なし 3590

1-2 柱と梁の取付け

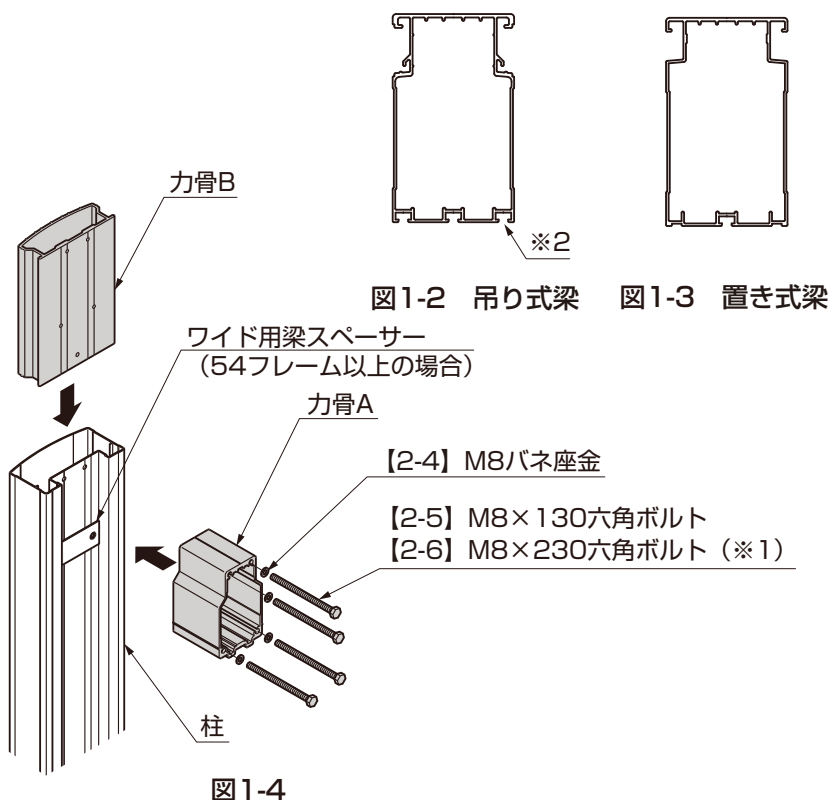


図1-4

補足

- 梁には吊り式と置き式があります。
- 置き式用柱の切断加工はありません。

①柱に力骨Bを挿入して力骨Aと【2-4】、【2-5】で固定してください。

ポイント

- 54を超えるフレームの場合は【2-6】を使用してください。（※1）

1. (つづき)

1-2 つづき

【2-7】 M8×30六角ボルト(※3)

吊束・梁固定金具裏板

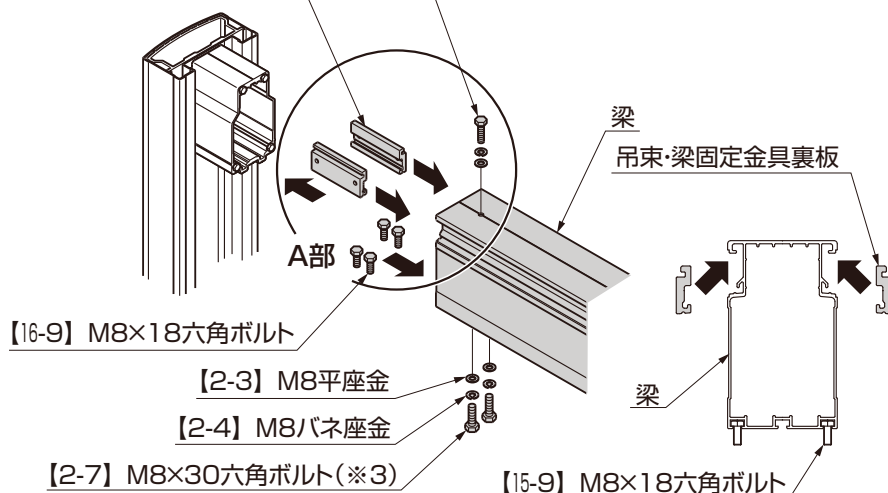


図1-5

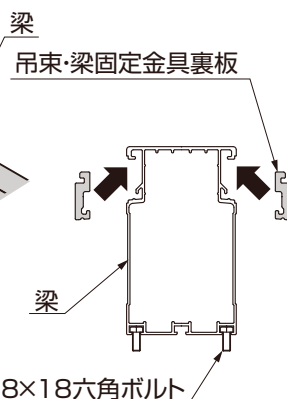


図1-6 A部詳細

1-3 柱キャップの取付け

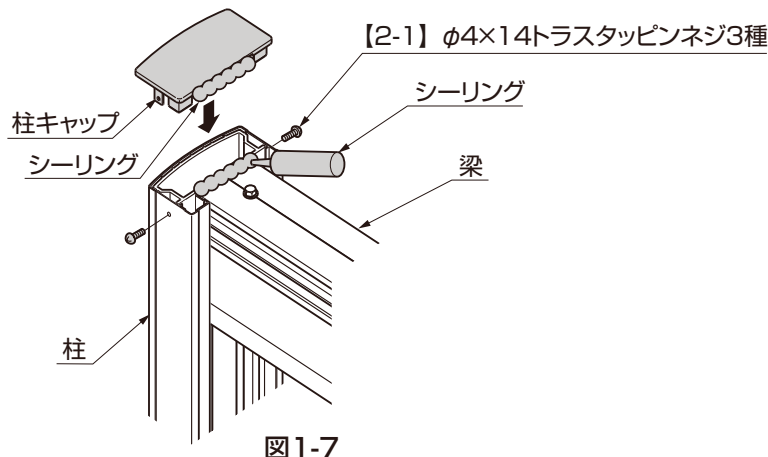
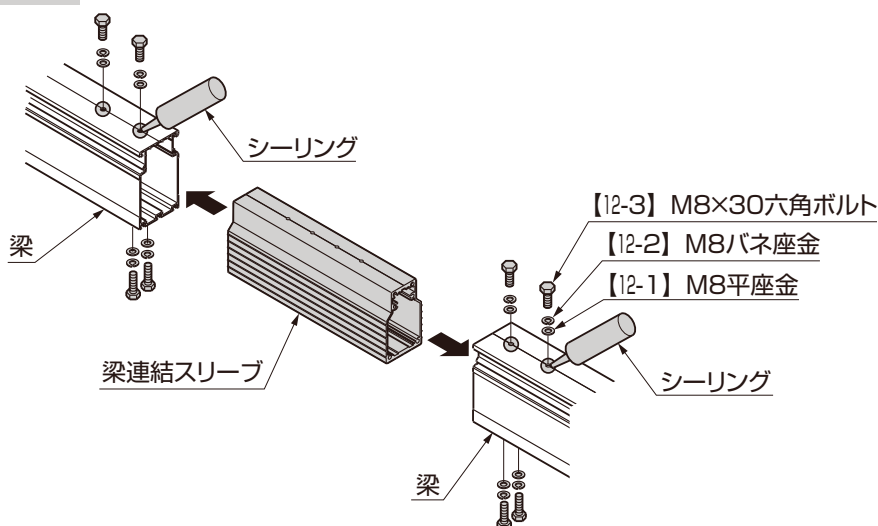


図1-7

1-4 分割梁の取付け ※60、70、80タイプの場合の作業です。



②梁側面の溝に吊り束・梁固定金具と裏板を、下面両端のボルトホール(※2)に【16-9】を挿入してください。

ポイント

- レギュラー屋根の場合は吊束・梁固定金具裏板を4個、【16-9】を8本、梁に挿入してください。
- ワイド屋根の場合は吊束・梁固定金具裏板を8個、【16-9】を16本、梁に挿入してください。

③梁と力骨Aを【2-3】、【2-4】、【2-7】で固定してください。

ポイント

- 54を超えるフレームの場合は【2-7】を2本使用してください。(※3)

①図1-7を参照してシーリングをしてください。

②柱キャップを【2-1】で取付けてください。

ポイント

- 指定の個所にシーリングしてください。

①梁連結スリーブを梁に挿入して、ボルト穴に十分にシーリングをしてから、【12-2】、【12-1】、【12-3】で固定してください。

ポイント

- 上面側のボルトから締込んでください。
- 指定の個所にシーリングしてください。

2. フレーム建込みと基礎の施工

※フレームは重量が重いので建込みの際は必要作業人数の確保またはユニック車を使用し、施工には注意してください。

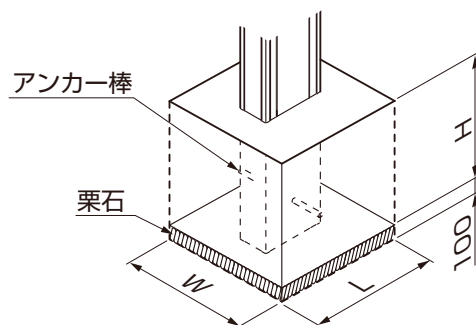


図2-1 基礎寸法

表2-1 50タイプの基礎寸法

フレーム 呼称	土間なし			土間あり		
	W	L	H	W	L	H
27~36	400	400	500	300	400	500
42~48	500	500	500			
54~80	600	700	500			

表2-2 57タイプの基礎寸法

フレーム 呼称	土間なし			土間あり		
	W	L	H	W	L	H
27~36	400	400	500	300	400	500
42~80	500	500	500			

①図2-1にしたがって栗石を敷いてください。（表2-1、表2-2参照）

ポイント

- 給水管などの地下埋設物に注意してください。

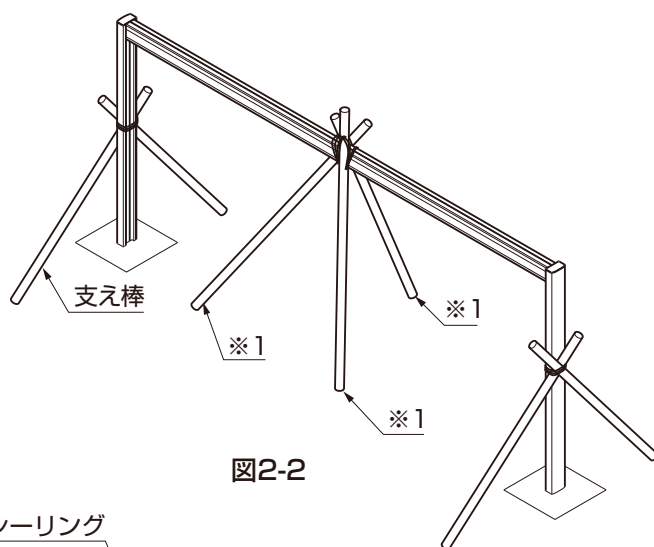


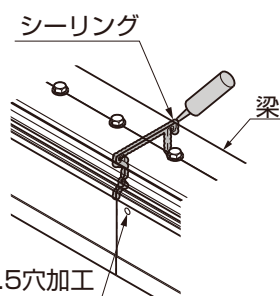
図2-2

②基礎穴に柱を立てて倒れないように支え棒で固定してください。（図2-2参照）

注意

事故防止のため

- 60を超えるフレームの場合は梁中央にも支え棒を固定してください。（※1）
- 60を超えるフレームの場合は重量が重くなりますので必要作業人数の確保または、ユニック車を使用してください。（表2-3参照）



【12-4】φ4×10丸サラ
タッピンネジ3種

梁連結カバー

図2-3

表2-3 フレーム重量

	吊		置	
	H23	H26	H23	H26
60	70.2	75.2	63.2	67.6
70	97.2	100.5	87.0	90.3
80	102.5	105.8	92.1	95.4

表2-4 指定のシーリング材

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
東レ・ダウコーニング（株）	SE960

③フレームの水平、垂直を確認して、コンクリートまたはモルタルを流し込んでください。

④梁と梁の接合部にφ3.5穴をあけて梁連結カバーを【12-4】で取付けてシーリングしてください。（図2-3参照）

補足

- シリコンシーリングを行う場合は当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。（表2-4参照）
- 54フレーム以上の場合、柱が開き気味になりますので施工時は垂直に注意してください。

3.柱カバーの取付け

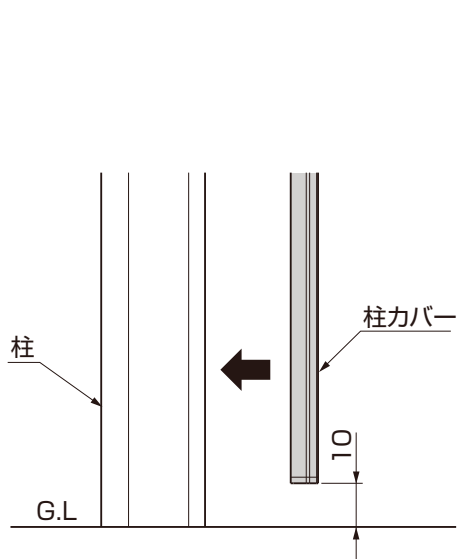


図3-1

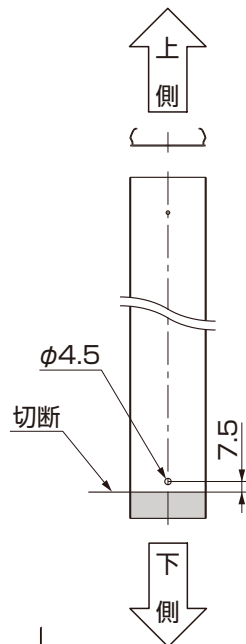


図3-2

- ①梁の下端から、G.L.より-10mm 短い寸法で柱カバーを切断して、φ4.5の穴加工をしてください。
(図3-1、図3-2参照)

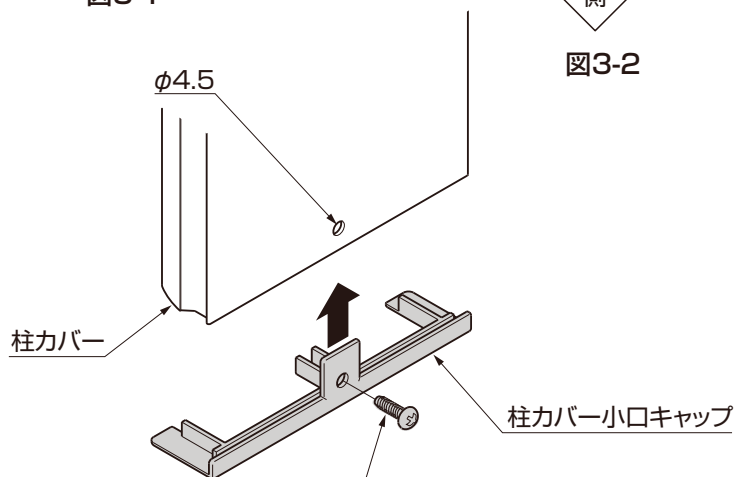


図3-3

- ②柱カバー小口キャップを【1-6】で取付けてください。
(図3-3参照)

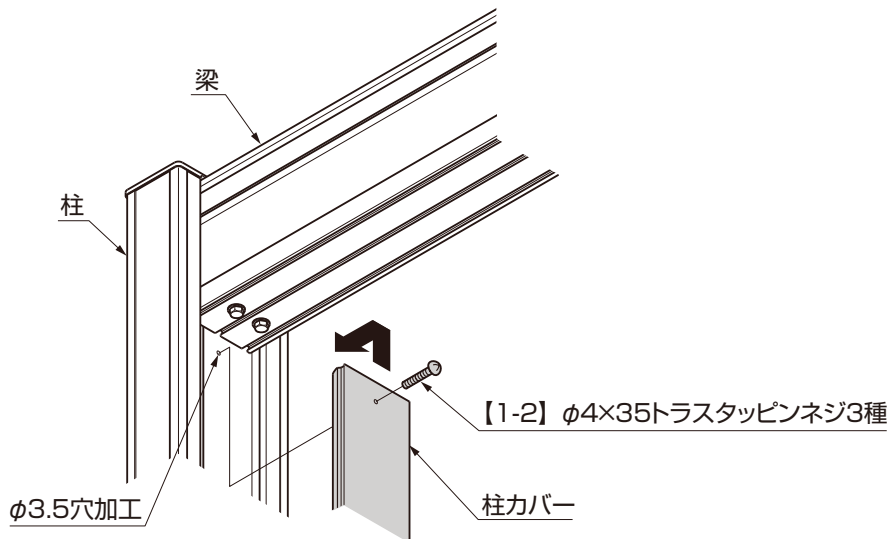


図3-4

- ③梁に柱カバーをあてて、柱カバーの上から柱にφ3.5の穴をあけてください。(図3-4参照)

ポイント

- 樋を取付ける側には取付けないでください。

- ④【1-2】で柱カバーを柱に取付けてください。

4.桁の取付け

4-1 レギュラー屋根・フラット屋根用の吊側桁の取付け

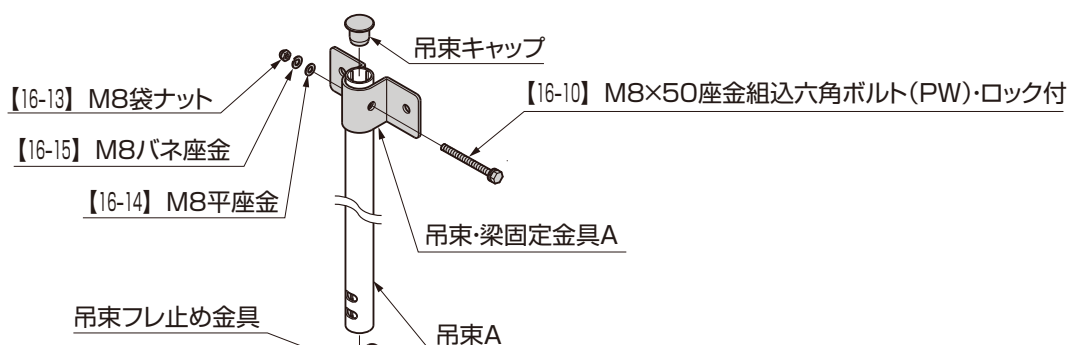


図4-1

- ①図4-1を参照して、吊束Aに吊束・梁固定金具Aを【16-10】、【16-14】、【16-15】、【16-13】で取付けてください。
- ②吊束Aに吊束キャップと吊束フレ止め金具を挿入してください。

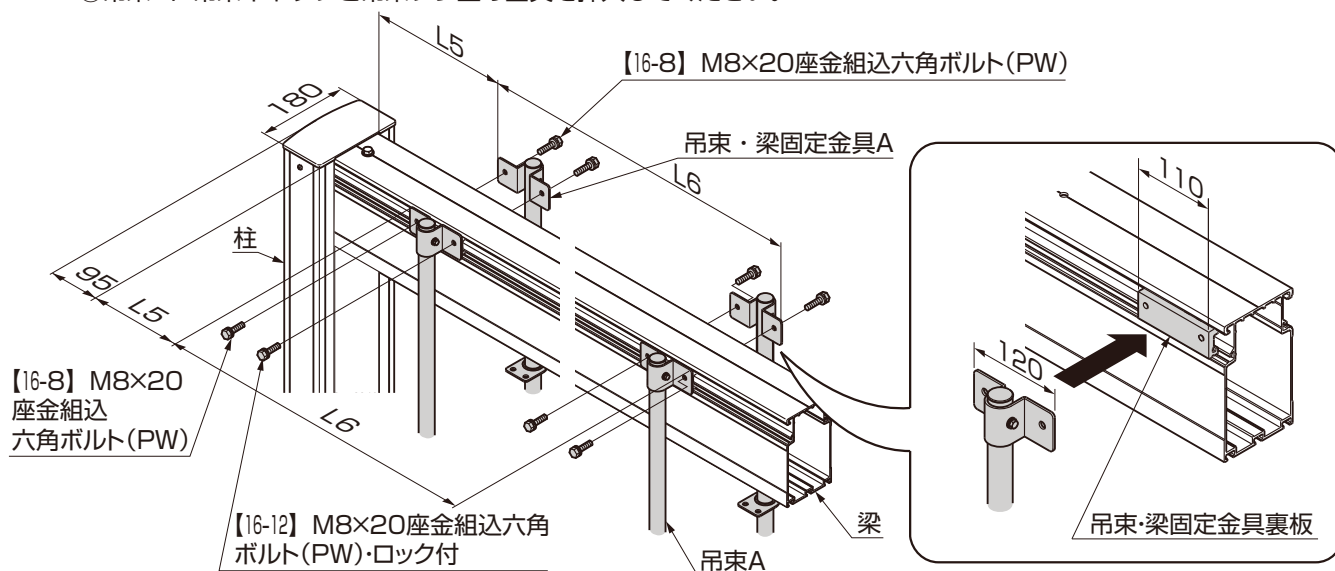


図4-2

表4-1 吊束取付け位置L5

フレーム呼称	フレームの端に屋根を設置した場合 屋根呼称			フレームの中央に屋根を設置した場合 屋根呼称		
	24	27	30	24	27	30
42	15			963.5	813.5	663.5
45				1113.5	963.5	813.5
48				1363.5	1213.5	1063.5
54				1663.5	1513.5	1363.5
60				1978.5	1828.5	1678.5
70				2448.5	2298.5	2148.5
80				2913.5	2763.5	2613.5

表4-2 吊束取付け位置L6

	24	27	30
L6	2481	2781	3081

- ③梁側面に挿入した吊束・梁固定金具裏板に吊束・梁固定金具Aを【16-8】、【16-12】で固定してください。(図4-2、表4-1、表4-2参照)
- ④梁下面に挿入したボルトに、吊束フレ止め金具を【16-14】、【16-15】、【16-13】で固定してください。(図4-3参照)

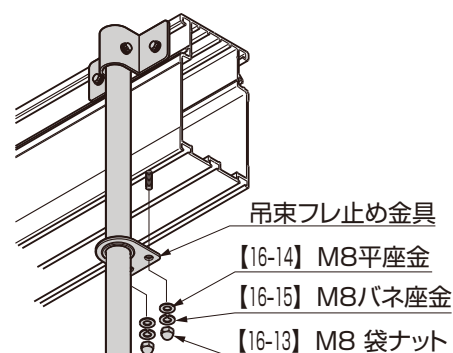


図4-3

4. (つづき)

4-2 ワイド屋根用の吊側桁の取付け

※置き式フレームに桁をのせてから、吊り式梁に桁を吊込んでください。
その時、桁にキズが付かないようにしてください。

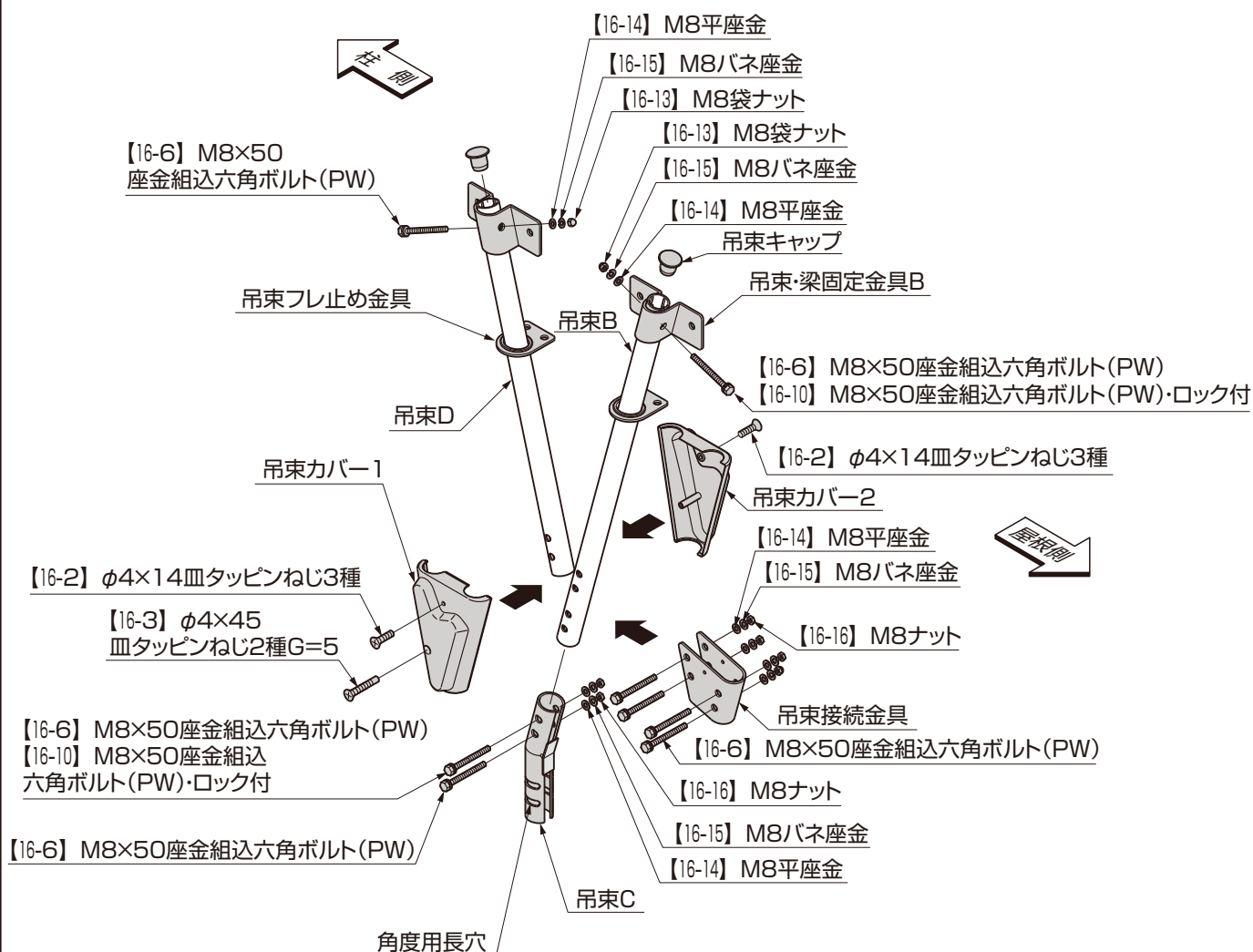


図4-4

- ①図4-1を参照して、吊束Bに吊束・梁固定金具Bを【16-6】、【16-14】、【16-15】、【16-13】で取付けてください。
- ②図4-1を参照して、吊束Dに吊束・梁固定金具Bを【16-6】、または【16-10】と【16-14】、【16-15】、【16-13】で取付けてください。
- ③吊束B、Dに吊束キャップとフレ止め金具を挿入してください。
- ④吊束Bに吊束Cを【16-6】、【16-14】、【16-15】、【16-16】と【16-6】、または【16-10】と【16-14】、【16-15】、【16-16】で取付けてください。
- ⑤吊束B、Dに吊束接続金具を【16-6】、【16-14】、【16-15】、【16-16】で取付けてください。
- ⑥吊束カバー1、2を吊束に【16-2】、【16-3】で取付けてください。

ポイント

- 上図はL用です。R用はL用と対称に組立ててください。

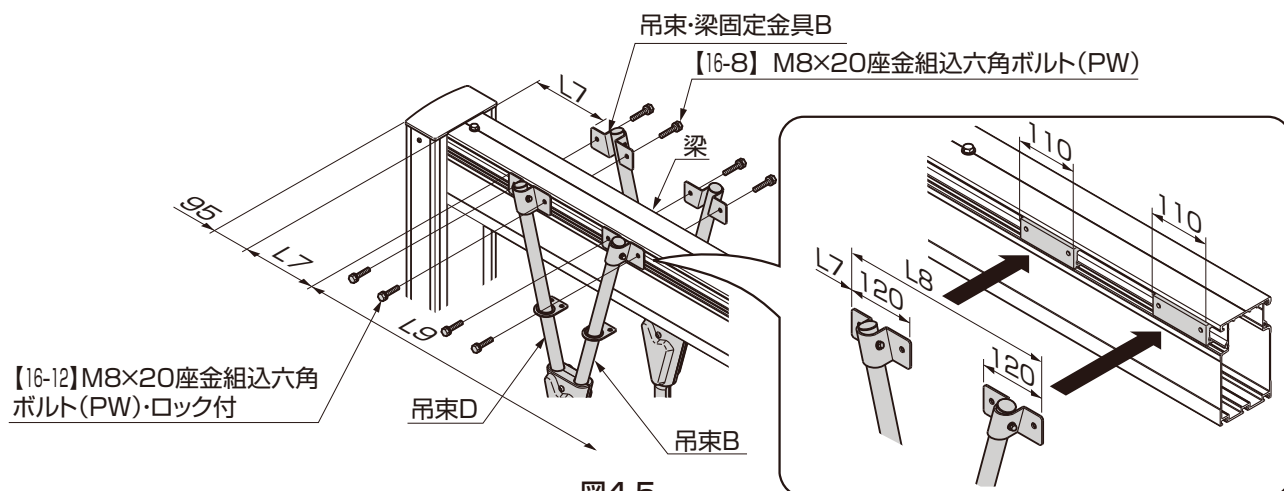


図4-5

表4-3 吊束取付け位置L7

	フレームの端に屋根を設置した場合		フレームの中央に屋根を設置した場合	
	屋根呼称		屋根呼称	
フレーム呼称	54	60	54	60
54	15		34.5	
60	15	15	349.5	27.5
70	15	15	819.5	497.5
80	15	15	1284.5	962.5

表4-4 吊束取付け位置L8

	54	60
L8	392.5	436.5

表4-5 吊束取付け位置L9

	54	60
L9	5659	6303

⑦梁側面に挿入した吊束・梁固定金具裏板に吊束・梁固定金具Bを【16-12】、【16-8】で固定してください。
(図4-5、表4-3、表4-4、表4-5参照)

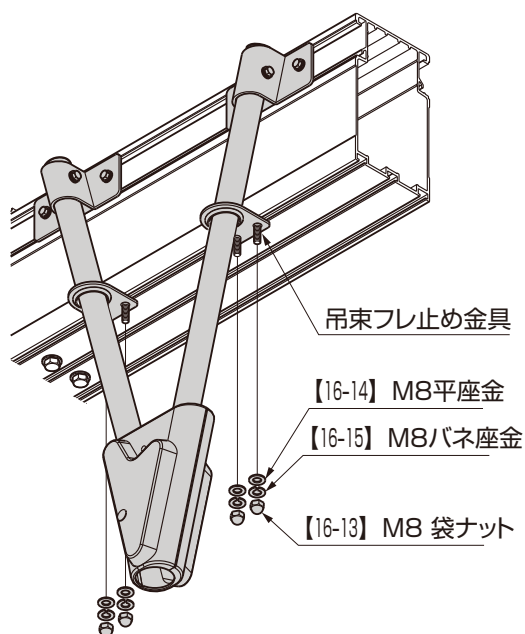


図4-6

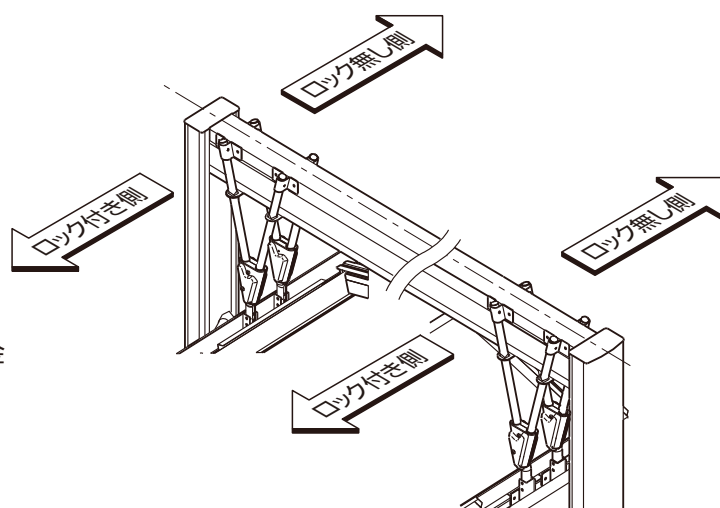


図4-7 ロック付きボルトの取付け位置

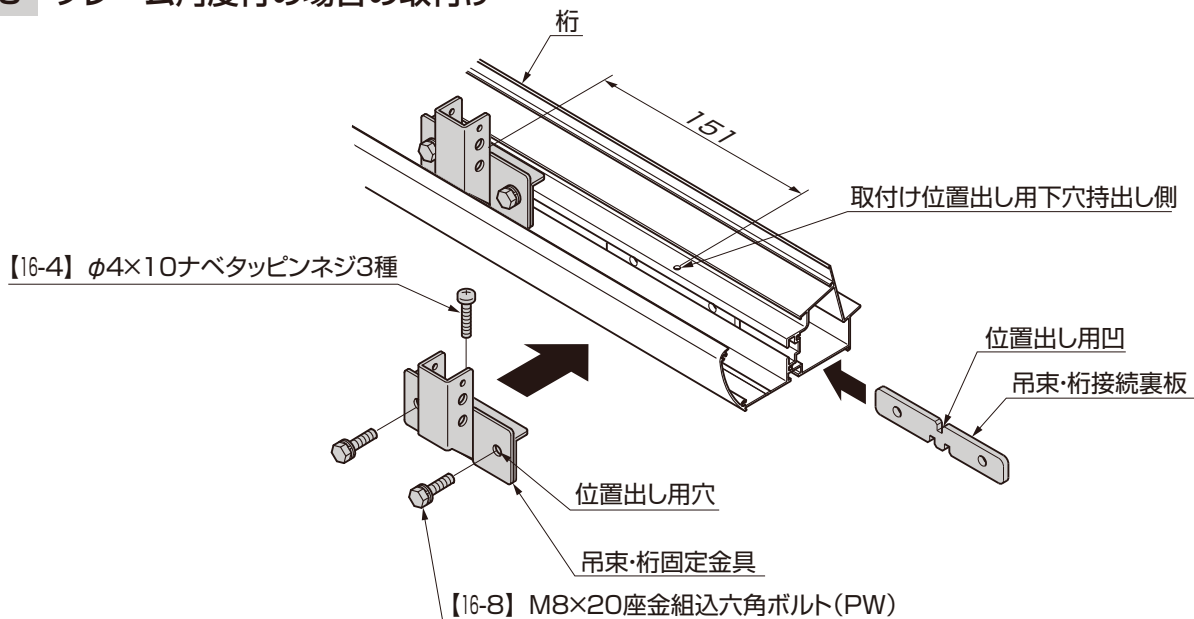
⑧梁下面に挿入したボルトに、吊束フレ止め金具を【16-14】、【16-15】、【16-13】で固定してください。(図4-6参照)

ポイント

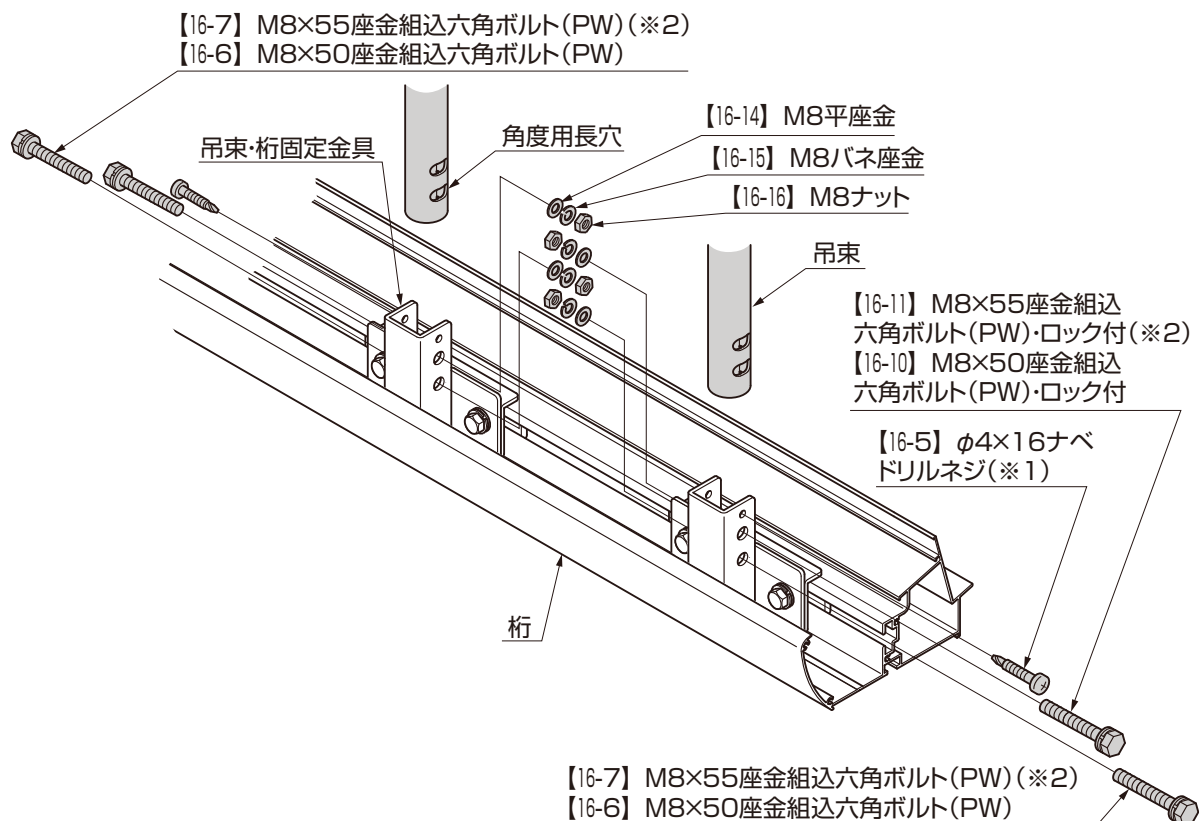
- ロック付きボルトの取付位置に注意してください。(図4-7参照)

4. (つづき)

4-3 フレーム角度付の場合の取付け



① 桁に吊束・桁接続裏板を挿入して、吊束・桁固定金具を【16-4】、【16-8】で固定してください。



② 吊束と吊束・梁固定金具を【16-6】、または【16-10】、【16-14】、【16-15】、【16-16】で固定してください。

③ 反対側も同様に取付けてください。

補足

- 【16-5】は、レギュラー屋根専用です。【16-5】は屋根の対角を出してから取付けてください。(※1)
- 【16-7】、【16-11】はワイド屋根専用です。(※2)

4-4 置き式梁への取付け

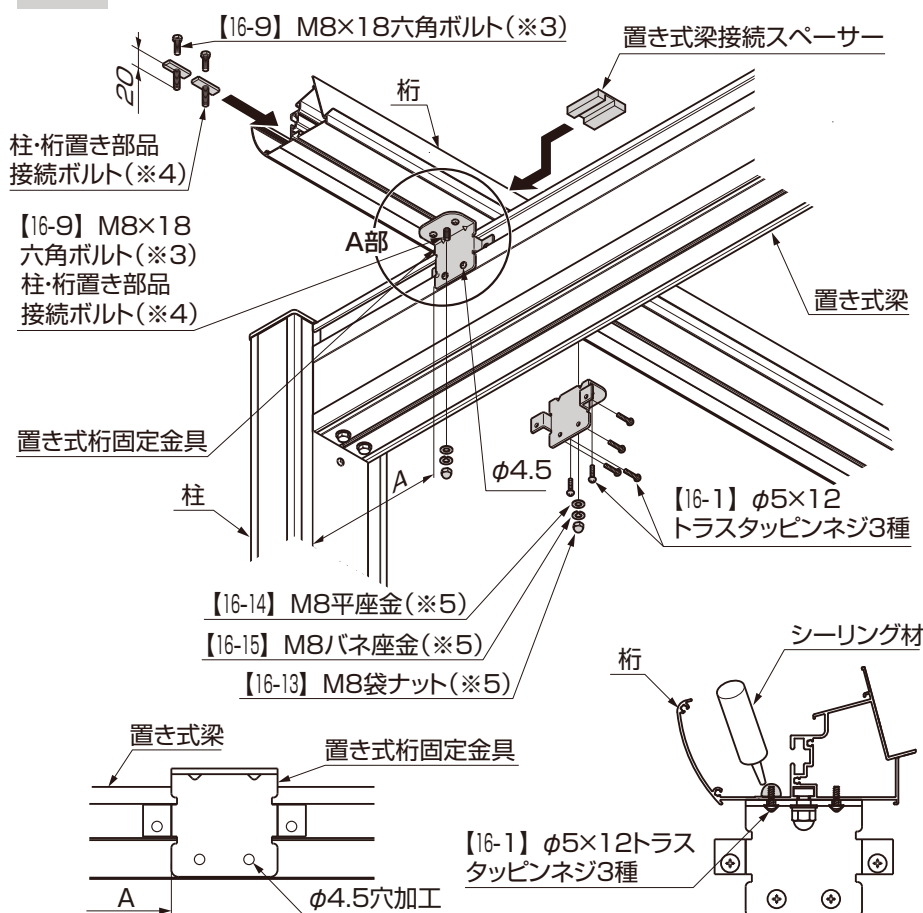


図4-8 A部詳細部

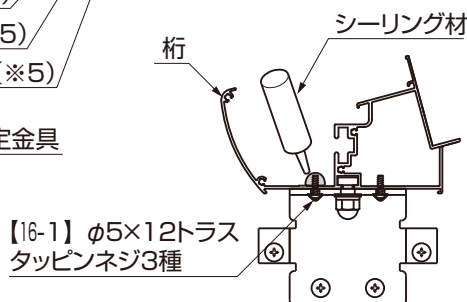


図4-9 ネジ部シーリング箇所

表4-6 置き式桁固定金具取付け位置A

	フレームの端に屋根を設置した場合					フレームの中央に屋根を設置した場合				
	屋根呼称					屋根呼称				
フレーム呼称	24	27	30	54	60	24	27	30	54	60
置き27						224	74			
置き30						374	224	74		
置き33						524	374	224		
置き36						674	524	374		
置き42						1011.5	861.5	711.5		
置き45						1161.5	1011.5	861.5		
置き48						1371.5	1221.5	1071.5		
置き54						1671.5	1521.5	1371.5	212	
置き60						1986.5	1836.5	1686.5	527	227
置き70						2456.5	2306.5	2156.5	997	667
置き80						2921.5	2771.5	2621.5	1462	1162

表4-7 指定のシーリング材

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960

①桁に【16-9】または柱・桁置き部品接続ボルトを挿入してください。

ポイント

- レギュラー屋根の場合は【16-9】を使用してください。(※3)
- ワイド屋根の場合は柱・桁置き部品接続ボルトを使用してください。(※4)

補足

- 50タイプは【16-9】を2本挿入してください。
- 57タイプは【16-9】を4本挿入してください。

- ②置き式桁固定金具を桁に【16-15】、【16-14】、【16-15】と【16-9】、または柱・桁置き部品接続ボルトで仮止めしてください。なお、(※5)のネジは本体色のものを使ってください。
- ③桁と置き式梁の間に置き式梁接続スペーサーを挟んでください。
- ④置き式桁固定金具の上から置き式梁・桁にφ4.5の穴をあけて、【16-1】で固定してください。
- ⑤桁の中に出ている【16-1】にシーリングをしてください。(図4-9参照)

補足

- シリコンシーリングを行う場合は当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。(表4-7参照)

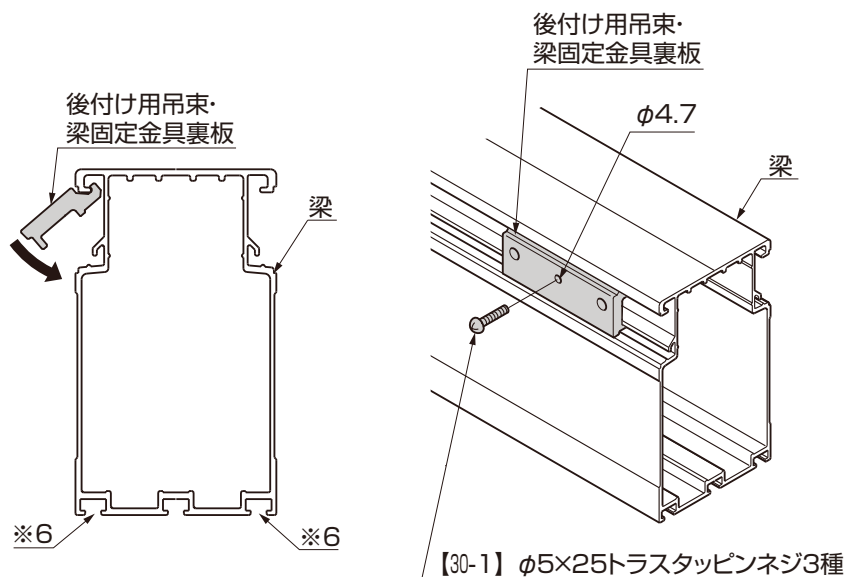
- ⑥【16-15】、【16-14】、【16-13】を本締めして固定してください。

ポイント

- 桁の持出し寸法は「2 フレーム対応角の決定」を参考にしてください。

4. (つづき)

4-5 吊側・後付け桁の場合 **オプション**



- ① 梁にφ4.5の下穴をあけてから、後付け用吊束・梁固定金具裏板を【30-1】で固定してください。

ポイント

- 他の手順は、通常と同様に行ってください。
- 梁下面両端のボルトホールに【16-9】を挿入するときは、フィンを切欠いてください。(※6)
- 固定位置は、「1 基本寸法と各部名称 2.基本寸法」を参照してください。

4-6 柱付けブラケットの取付け **オプション** ※吊側桁で吊らずに、桁に置く場合の作業です。

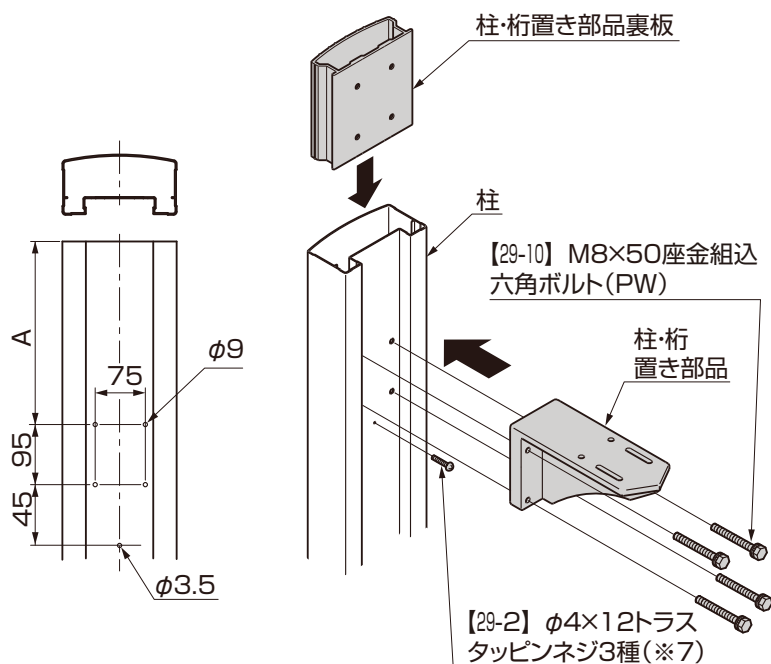


図4-10

図4-11

- ① 図4-10を参照して、柱にφ9とφ3.5の穴をあけてください。
- ② 【29-2】を柱に取付けてください。

補足

- 【29-2】は柱・桁置き部品裏板位置出し用です。(※7)
- ③ 柱・桁置き部品裏板を柱に挿入して、柱・桁置き部品を【29-10】で固定してください。(図4-11参照)
- ④ 「3 本体の施工 1.柱・梁の取付け 2.フレーム建込みと基礎の施工 3.柱カバーの取付け」をしてください。

表4-8 柱付けブラケット取付寸法A

呼称	A
レギュラー	605
ワイド(54)	748
ワイド(60)	830

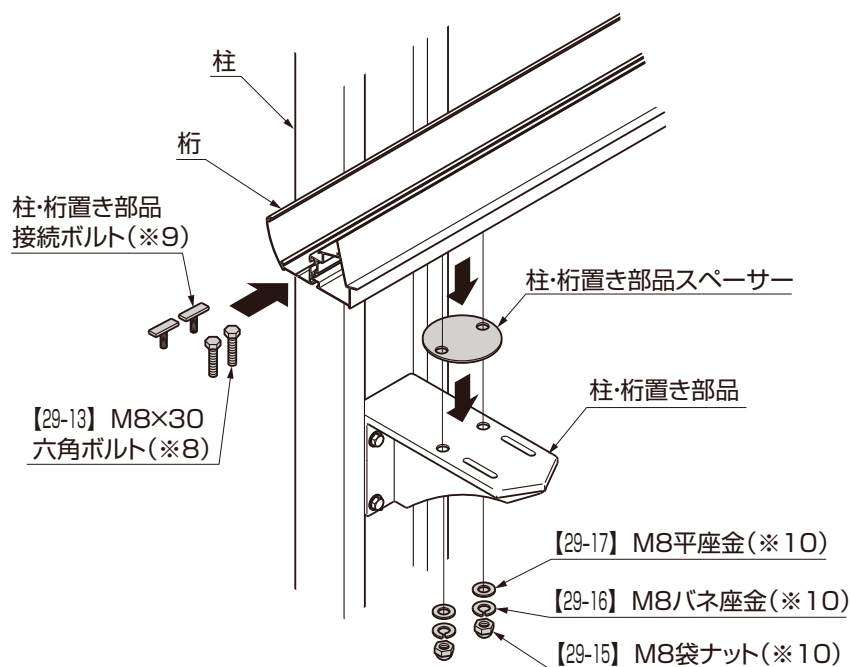


図4-12

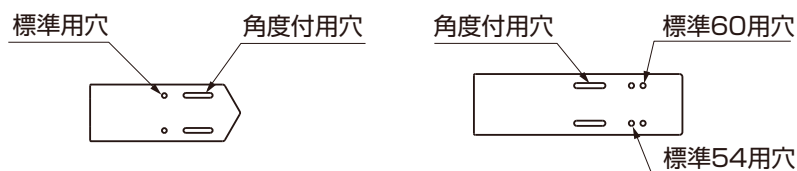


図4-13 柱・桁置き部品
レギュラー用

図4-14 柱・桁置き部品
ワイド用

⑤桁に【29-13】または柱・桁置き部品接続ボルトを挿入してください。

ポイント

- レギュラー屋根の場合は【26-13】を使用してください。(※8)
- ワイド屋根の場合は柱・桁置き部品接続ボルトを使用してください。(※9)

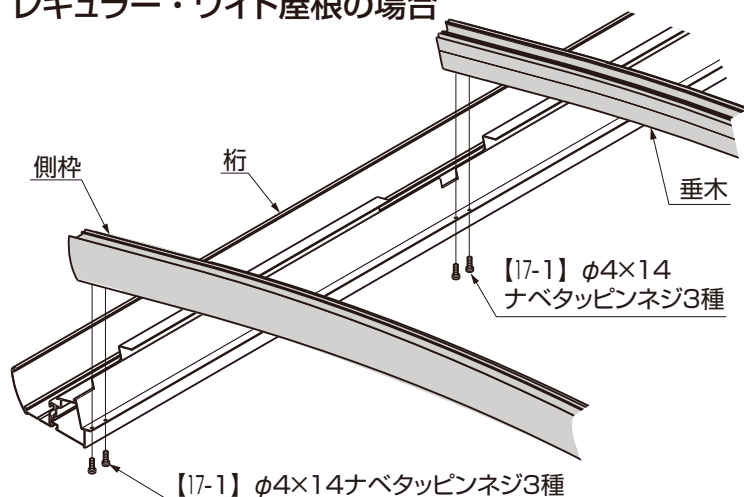
⑥柱・桁置き部品に柱・桁置き部品スペーサをのせて【29-13】を柱・桁置き部品に挿入して【29-17】、【29-16】、【29-15】で取付けてください。なお、(※10)のネジは本体色のもので使ってください。

ポイント

- 柱・桁置き部品には標準用と角度付き用の長穴があります。
- 樋を取付ける側には取付けないでください。

5.垂木・側枠・端部垂木の取付け ※端部垂木の取付けはフラット屋根の場合のみの作業です。

5-1 レギュラー・ワイド屋根の場合



①側枠、垂木を桁に【17-1】で取付けてください。

ポイント

- 取付けにくい場合は、吊束・梁固定金具を緩めて調整をしてください。

5. (つづき)

5-2 フラット屋根の場合

(1) 端部垂木・側枠の組立て

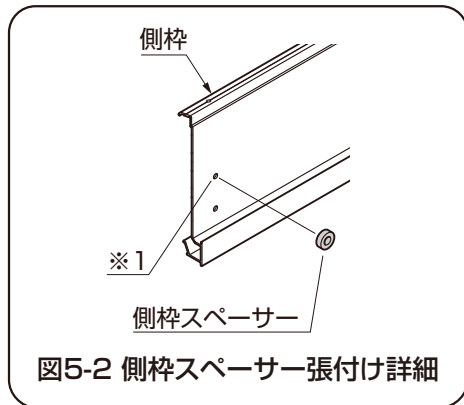


図5-2 側枠スペーサー張付け詳細

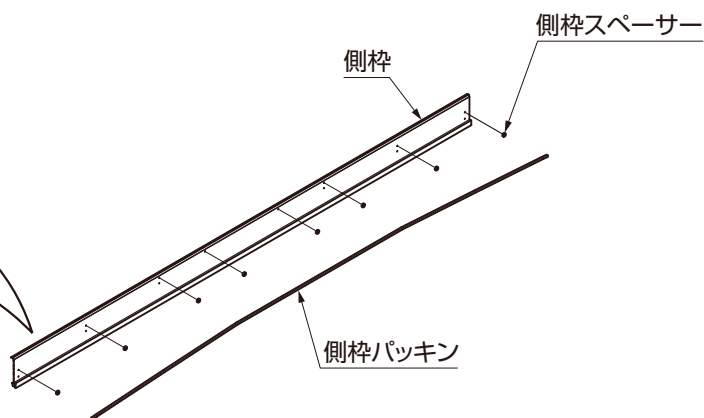


図5-1



図5-3 張付け面(正面)

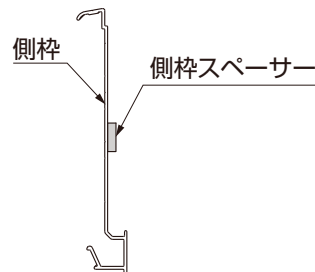


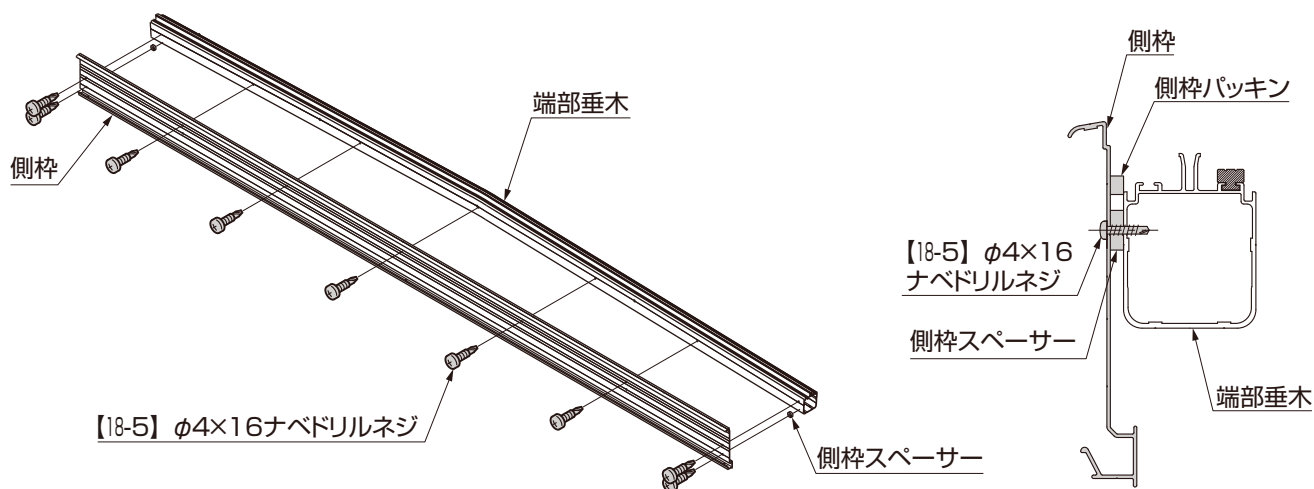
図5-4 張付け面(側面)

①側枠の穴位置に合わせて、側枠スペーサーを側枠に取付けてください。(図5-1、図5-3、図5-4参照)

ポイント

●側枠スペーサーは上の穴（※1）のみ取付けてください。(図5-2参照)

②側枠スペーサー上面にそわせて側枠パッキンを側枠に張付けます。(図5-1、図5-3、図5-4参照)



③側枠スペーサーを端部垂木に取付けてください。

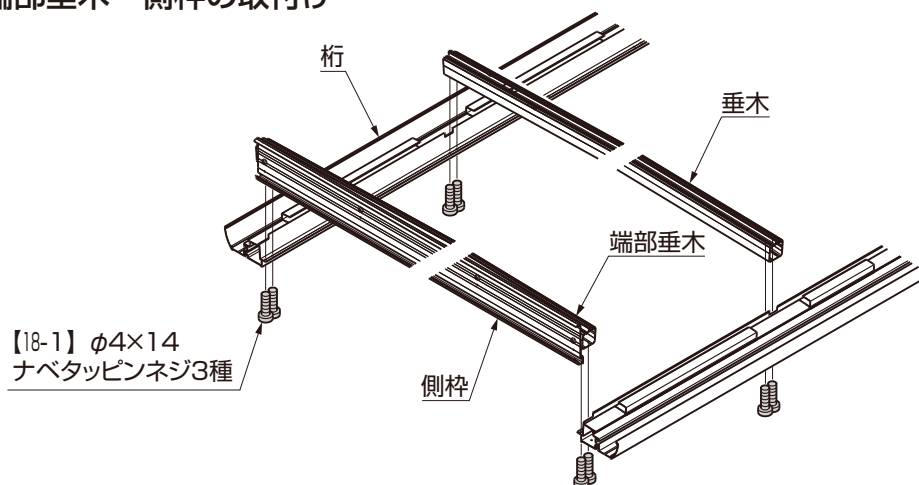
④側枠を端部垂木に【18-5】で取付けてください。

ポイント

●側枠は端部垂木の母屋固定部品取付穴のない方に取付けてください。

●固定の際は、位置出しのため両端部より行ってください。

(2) 端部垂木・側枠の取付け



①端部垂木、垂木を桁に【18-1】で取付けてください。

ポイント

- 取付けづらい場合は、吊束・梁固定金具をゆるめて調整してください。
- 桁止水板、桁端部キャップは屋根材カバー取付け後に取付けてください。

(3) 側枠カバーの取付け

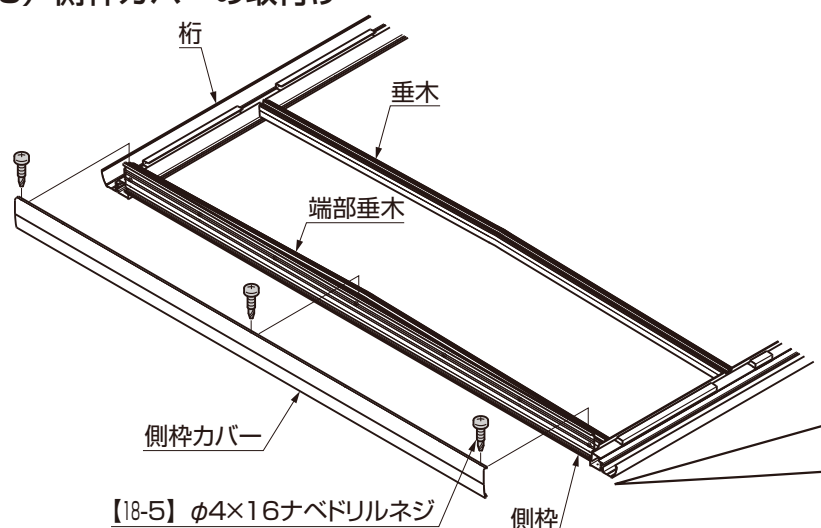


図5-6

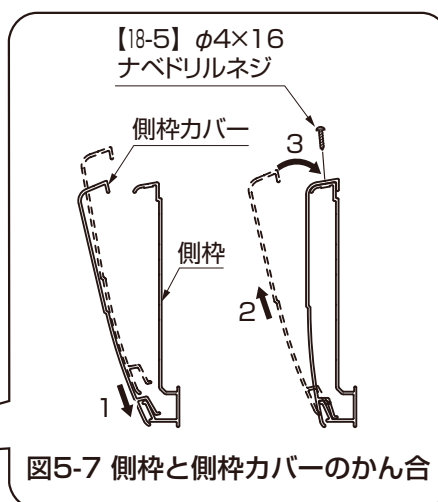


図5-7 側枠と側枠カバーのかん合

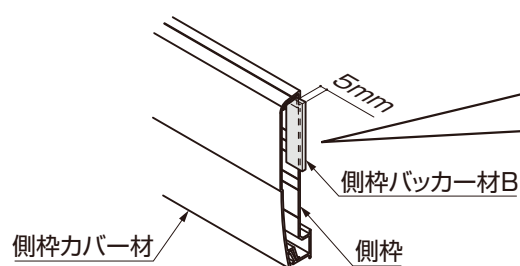


図5-8

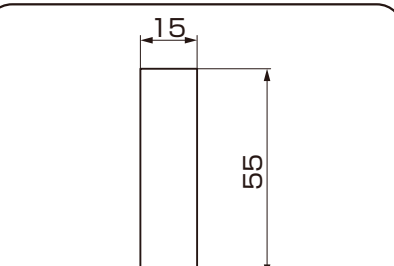


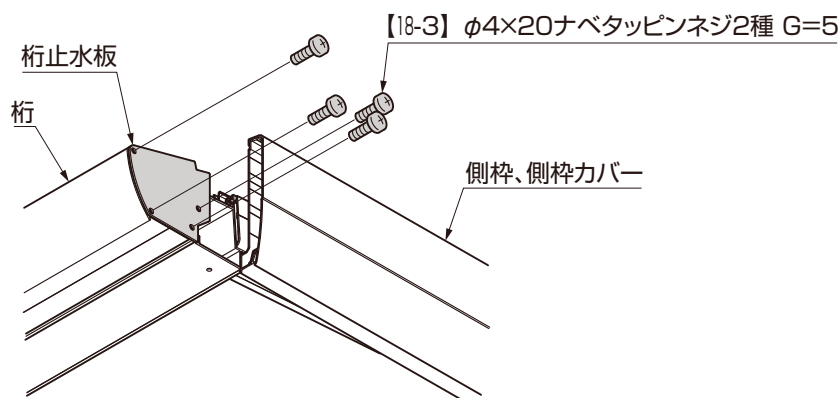
図5-9 側枠バッカー材B (白色)

- ①側枠カバーを側枠に【18-5】で取付けてください。(図5-6、図5-7参照)
- ②側枠バッカー材Bを側枠両端部に張付けてください。(図5-8、図5-9参照)

5. (つづき)

5-2 つづき

(4) 桁端部キャップの取付け



① 桁止水板を桁に【18-3】で取付けてください。

ポイント

● 桁止水板のパッキングが桁小口に当たってつぶれていることを確認してください。

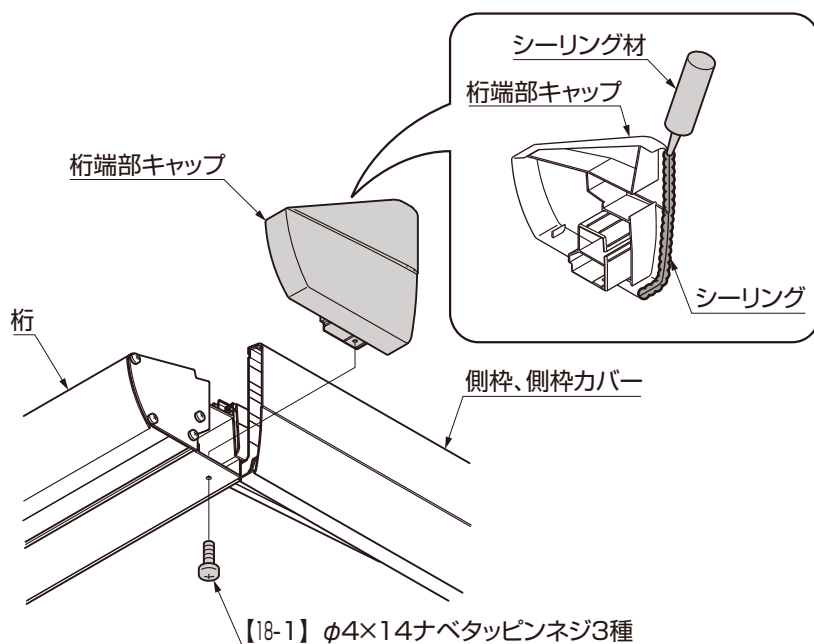


図5-10

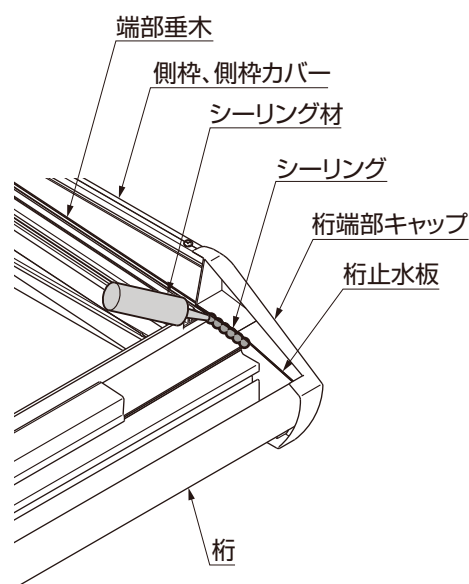


図5-11

表5-1 指定のシーリング材

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業 (株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン (合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング (株)	SE960

② 桁端部キャップにシーリングを充てんし、桁に【18-1】で取付けてください。(図5-10参照)

③ 桁と桁止水板のすき間にシーリング材を充てんしてください。(図5-11参照)

補足

● シリコンシーリングを行う場合は当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。(表5-1参照)

6.母屋・棟木の取付け

6-1 母屋の取付け

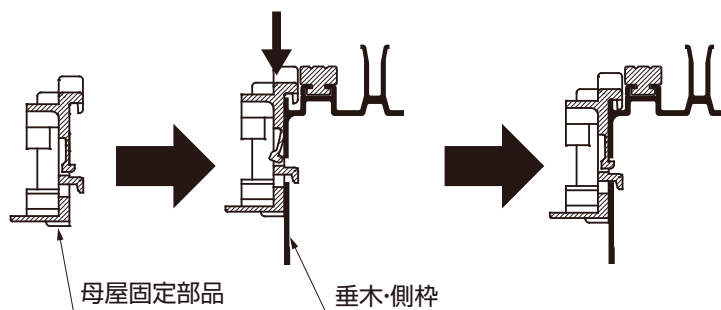


図6-1

- ①側枘と1本目の垂木の側枘側に、母屋固定部品レギュラー端部用を、フィン部に引っ掛けて取付けてください。
(図6-1参照)

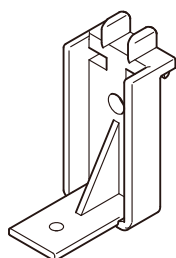


図6-2 母屋固定部品
レギュラー端部用

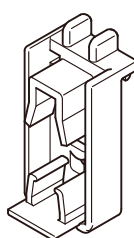


図6-3 母屋固定部品

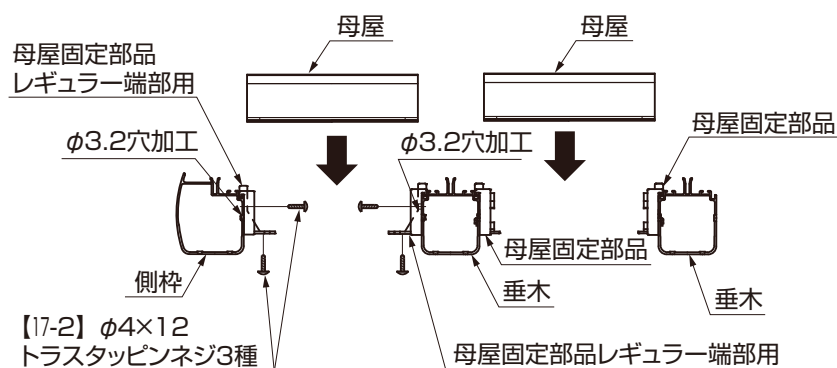


図6-4

- ②側枘と垂木に取付けた母屋固定部品レギュラー端部用の上から、側枘と垂木にφ3.2の穴をあけて、【17-2】で固定してください。
(図6-2参照)
- ③他の垂木には、母屋固定部品をフィン部に引っ掛けて取付けてください。
- ④母屋を【17-2】で取付けてください。
(図6-4参照)

6-2 棟木の取付け ※ワイド屋根の場合の作業です。

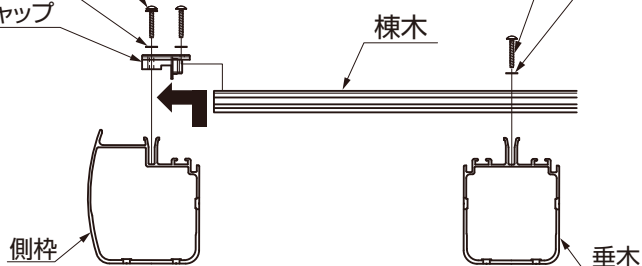
【19-3】φ4×25トラスタッピンネジ3種

【19-6】M4平座金

棟木端部キャップ

【19-4】φ4×35トラスタッピンネジ3種

【19-6】M4平座金



- ①棟木を棟木端部キャップに差込んで、【19-3】で固定してください。
- ②棟木を側枘に【19-3】、【19-6】で取付けてください。
- ③棟木を垂木に【19-4】、【19-6】で取付けてください。

7. 屋根パネルの取付け

7-1 レギュラー・ワイド屋根の場合



図7-1

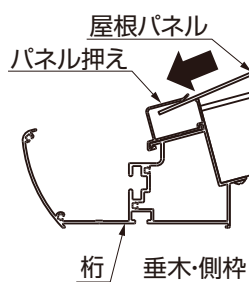


図7-2

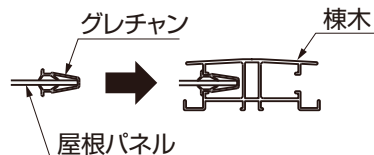


図7-3

- ① パネル押えをスパンの中央にスライドしてください。
- ② ワイド屋根の場合は屋根パネルにグレチャンを取付けて、棟木に差込んでください。（図7-3参照）

ポイント

- レギュラー屋根の場合は、屋根パネルにグレチャンは取付きません。
- ③ 屋根パネルの桁側をパネル押えに差込んでください。（図7-2参照）

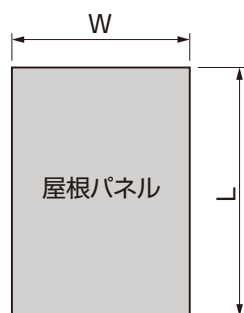


表7-1

屋根呼称	W	L
15	689	1311
18	689	1625
24	689	2326
27・54	689	2636
30・60	689	2947

7-2 フラット屋根の場合

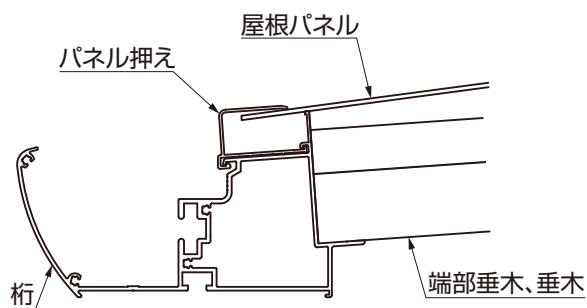


図7-4

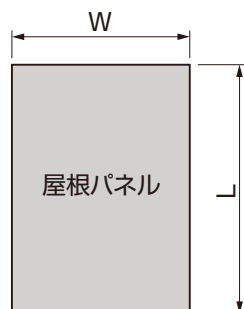


表7-2

屋根呼称	W	L
15	689	1283
18	689	1584
24	689	2286
27	689	2587
30	689	2887

- ① パネル押えをスパンの中央にスライドさせてください。
- ② 屋根パネルをパネル押えに差込みます。（図7-4参照）

ポイント

- パネル押え・端部垂木・垂木の、のみ込み寸法が左右均等になっていることを確認してください。

8. 屋根パネルの固定

8-1 レギュラー・ワイド屋根の場合

(1) 垂木カバーの取付け

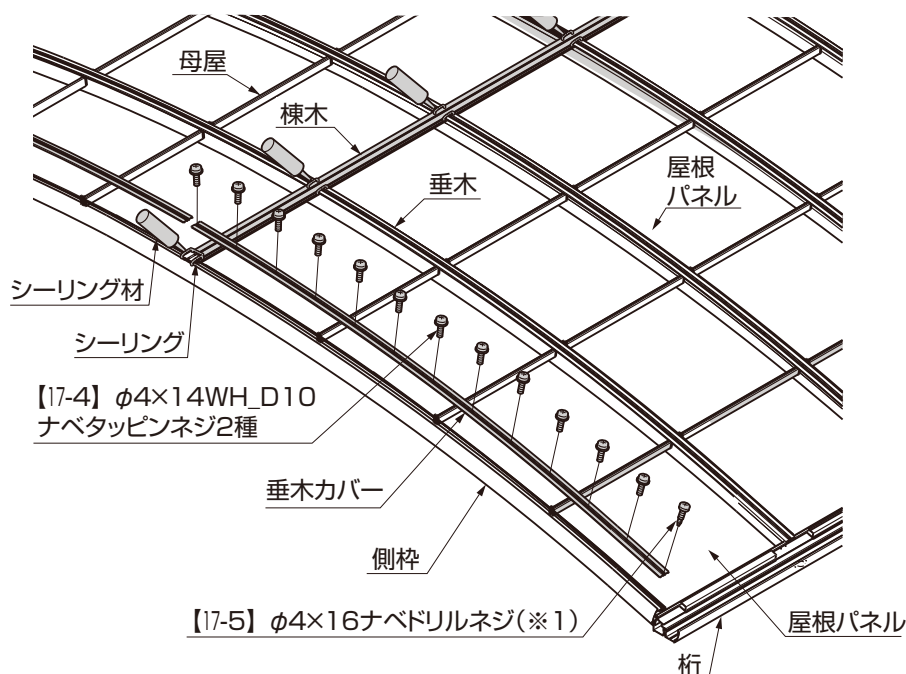


図8-1

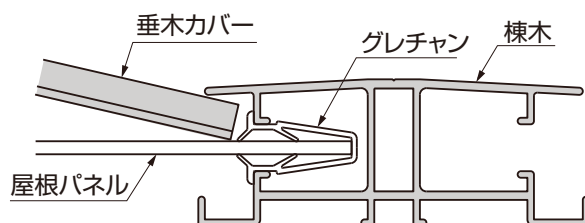


図8-2

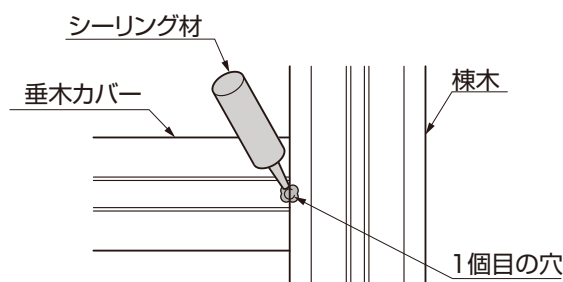


図8-3

表8-1 指定のシーリング材

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960

- ① 垂木カバーを棟木に差込んでください。(図8-2参照)
- ② ワイド屋根の場合は、棟木側から【17-4】で取付けてください。(図8-1参照)
レギュラー屋根の場合は、桁側からの取付けになります。

ポイント

- 1個目の穴は棟木に干渉しますので、シーリングしてください。(図8-3参照)
- 垂木カバーが垂木や側枠とかみ合っている事を確認してください。
- 桁側端部のみ【17-5】で垂木カバーを取付けてください。(※1)

- ③ 棟木と垂木材カバーのすき間をシーリングしてください。

ポイント

- 屋根パネルの養生シートは施工時にはがしてください。

補足

- シリコンシーリングを行う場合、アクリル板およびポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。(表8-1参照)

8. (つづき)

8-1 つづき

(2) 排水部品の取付け

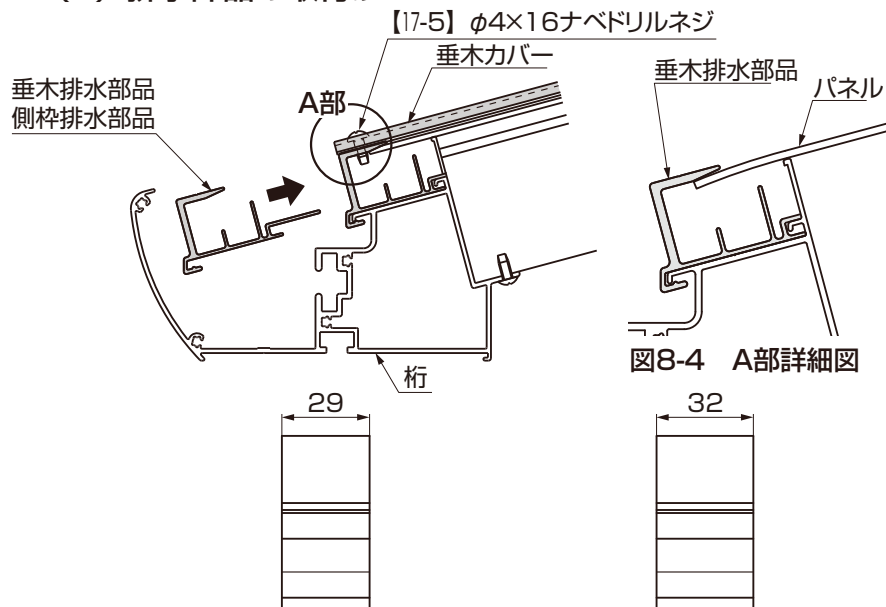
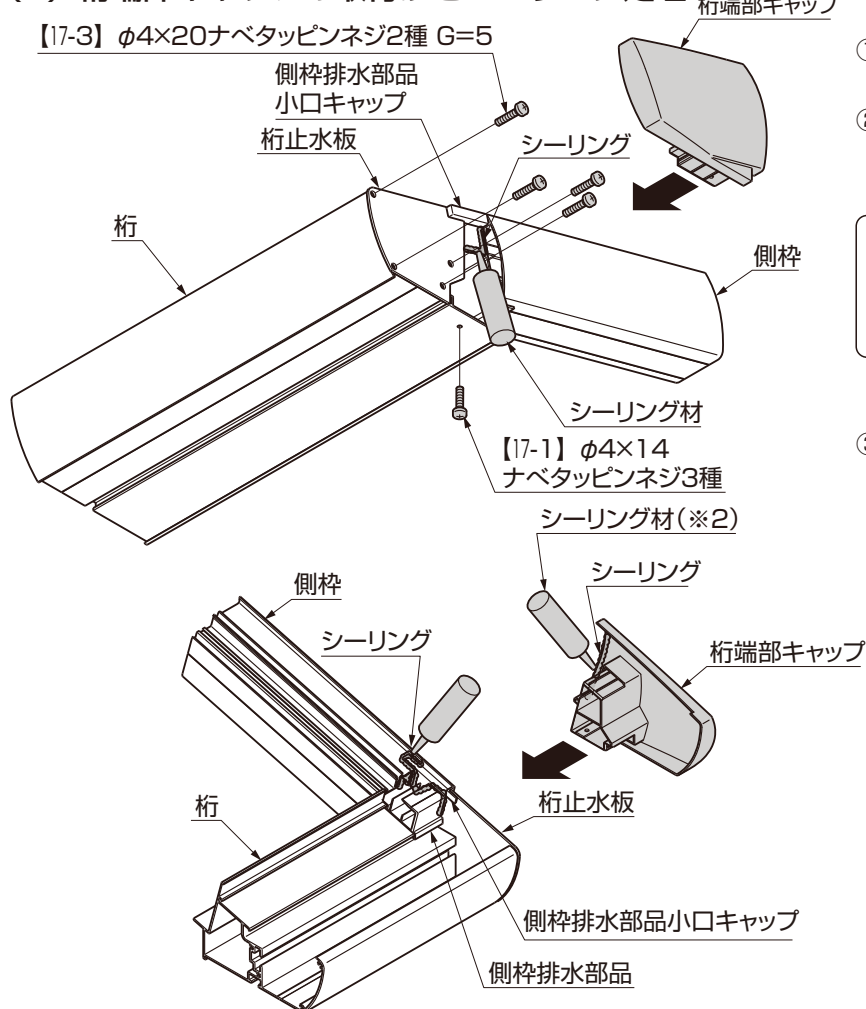


図8-5 垂木排水部品

図8-6 側枠排水部品

(3) 桁端部キャップの取付けとシーリング処理



- ①側枠には側枠排水部品、垂木に垂木排水部品を差込んで屋根材カバーと一緒に【17-4】で取付けてください。

ポイント

- 側枠には排水部品に側枠排水部品小口キャップを取付けてから挿入してください。
- 側枠排水部品小口キャップには、左右があります。
- 側枠排水部品小口キャップと側枠のすき間にシーリングをしてから垂木カバーを取付けてください。
- 桁フィンに排水部品が引っかかっている事を確認してください。(図8-4参照)
- 側枠排水部品小口キャップと垂木カバーが干渉する場合は垂木カバーを切断してください。

- ①桁止水板を桁に【17-1】で取付けてください。
- ②桁端部キャップを桁に【17-1】で取付けてください。

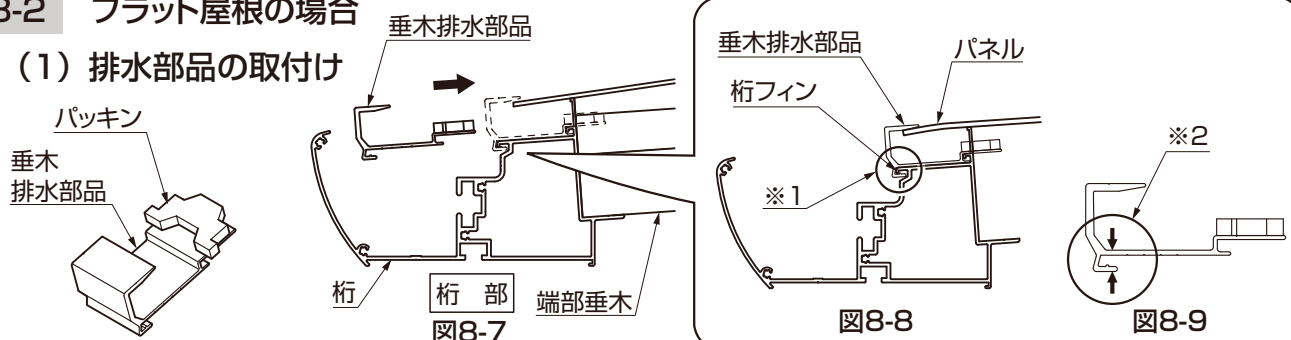
ポイント

- 桁止水板のパッキンが、桁小口に当たってつぶれている事を確認してください。

- ③桁の中に出ている【17-1】にシーリングをしてください。

8-2 フラット屋根の場合

(1) 排水部品の取付け



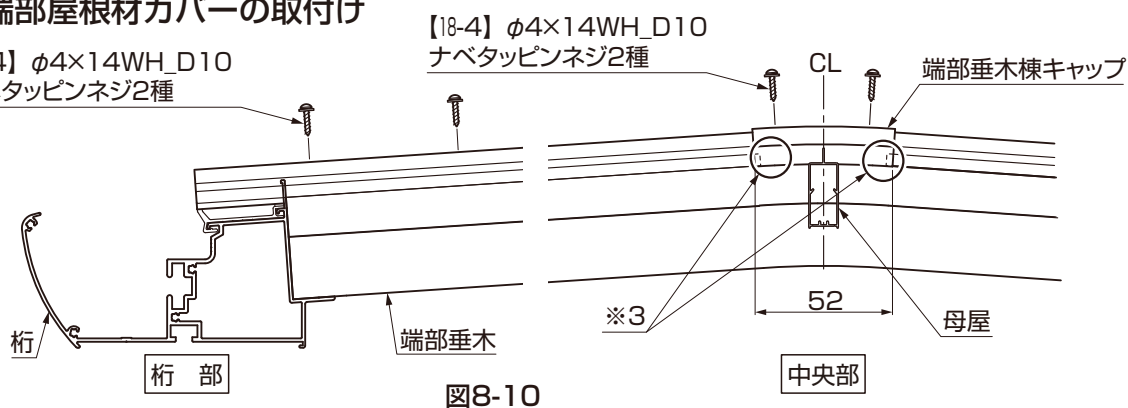
① 桁と端部垂木・垂木のすき間に垂木排水部品を差込んでください。

ポイント

- 排水部品にパネルをのみ込ませてください。(図8-7参照)
- 桁フィンに垂木排水部品が引っ掛かっていることを確認してください。(図8-8 ※1参照)
- 端部垂木に取付ける排水部品はねじ止めしません。桁とのかん合がゆるい場合は※2の位置をカシメてください。(図8-9参照)
- 垂木排水部品に取付いている、パッキンが剥がれないように注意して取付けてください。

(2) 端部屋根材カバーの取付け

【18-4】φ4×14WH_D10
ナベタッピンネジ2種



① 端部屋根材カバーの位置を合わせ(※3)、中央部から桁に向かって順番に【18-4】で取付けてください。(図8-10参照)

ポイント

- 端部垂木カバーと垂木排水部品のねじ止めは不要です。
- 端部垂木カバーは桁止水板の外側にフィンがでるように取付けてください。(図8-11 ※4参照)

② 中央部に端部垂木棟キャップを【18-4】で取付けてください。(図8-12参照)

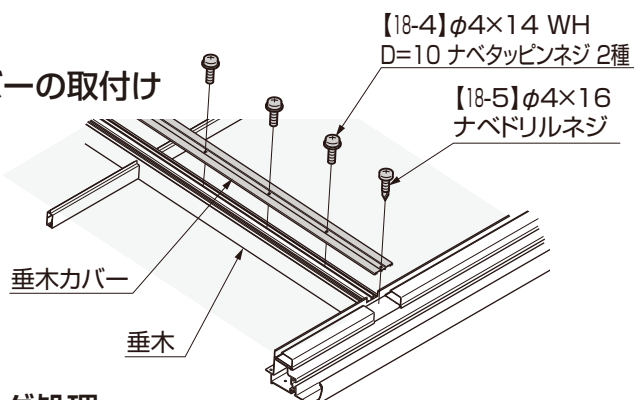
ポイント

- 屋根の中央は母屋のフィンを目安にしてください。

8. (つづき)

8-2 つづき

(3) 垂木カバーの取付け



① 垂木カバーを中央部から、屋根パネルに沿わせるように押えつけて順番に【18-4】で取付けてください。

② 両端最後の1本は、【18-5】で取付けてください。

ポイント

● 垂木カバーには、中央部に固定穴があいています。位置出しの際に使用してください。

(4) シーリング処理

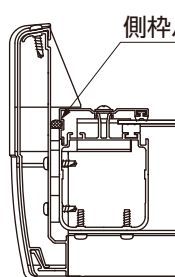


図8-14



※袋入り

図8-15
側桢バッカー材A (白色)

表8-2

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業 (株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン (合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング (株)	SE960

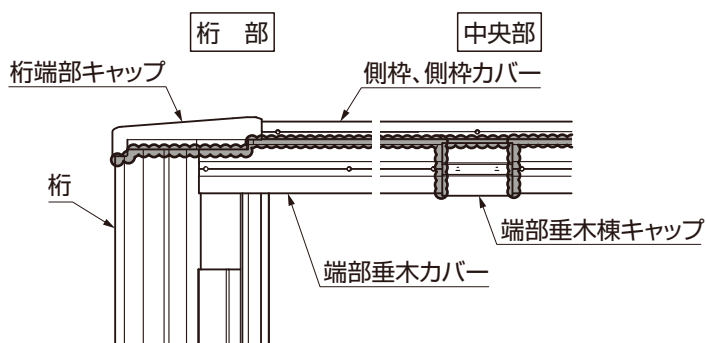


図8-16

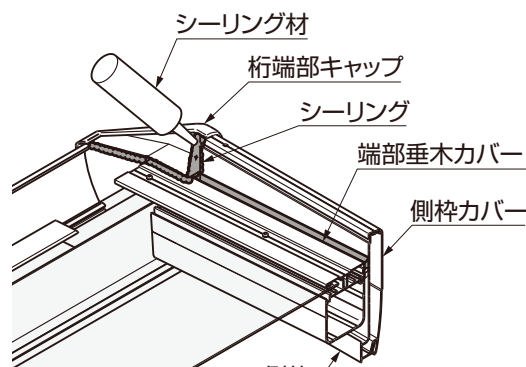


図8-17 側部

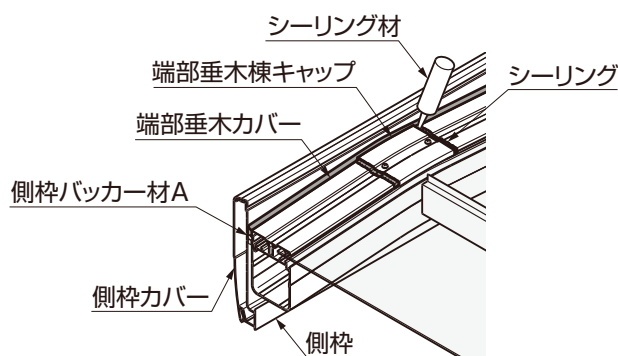


図8-18 中央部(15、18)

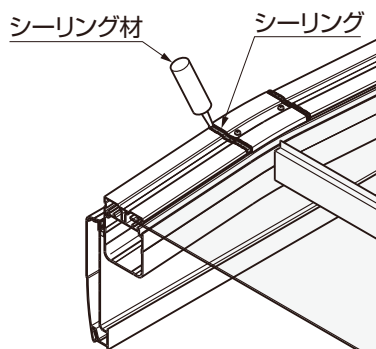


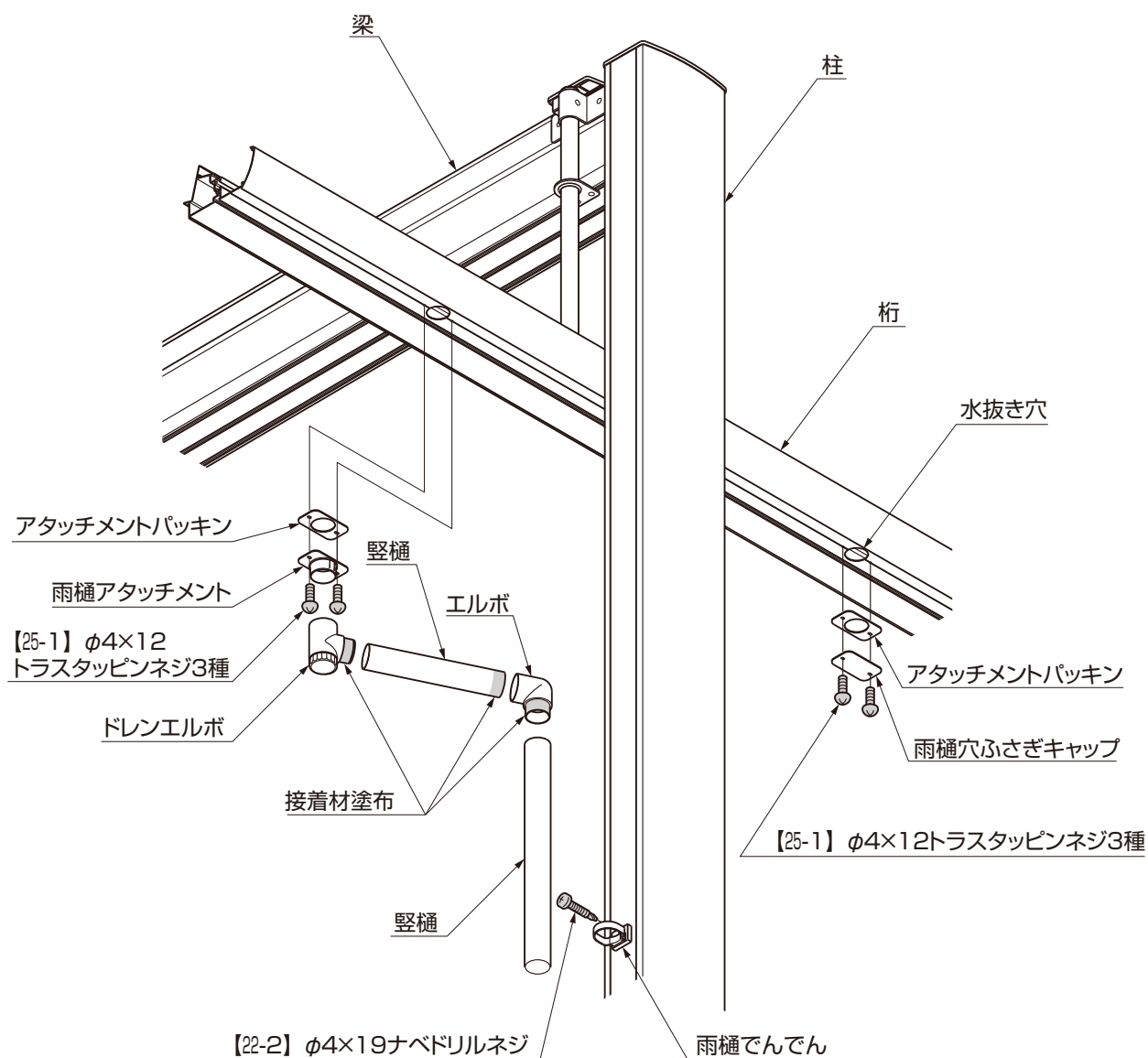
図8-19 中央部(24、27、30)

- ① 端部垂木と側桢のすき間に側桢バッカー材A (φ8×L3000) を挿入してください。(図8-14参照)
- ② 側部と中央部を図のようにシーリングしてください。(図8-16、図8-17、図8-18、図8-19参照)

補足

● シリコンシーリングを行う場合、アクリル板およびポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。(表8-2参照)

9. 縦樋の取付け



ポイント

- 水こう配を考慮して縦樋の取付け位置を決めてください。
- 置き式梁側に縦樋を取付ける時に、置き式梁に縦樋が干渉する場合は、別売のエルボを使用してください。

- ①桁両端の水抜き穴のうち片方にアタッチメントパッキンと雨樋穴ふさぎキャップを【25-1】で取付けてください。
- ②もう一方はアタッチメントパッキンと雨樋アタッチメントを【25-1】で取付けてください。
- ③雨樋でんでんを【22-2】で取付けてください。
- ④ドレンエルボ・縦樋・エルボを接着剤で取付けてください。

10. 横樋の取付け

10-1 横樋の現場加工

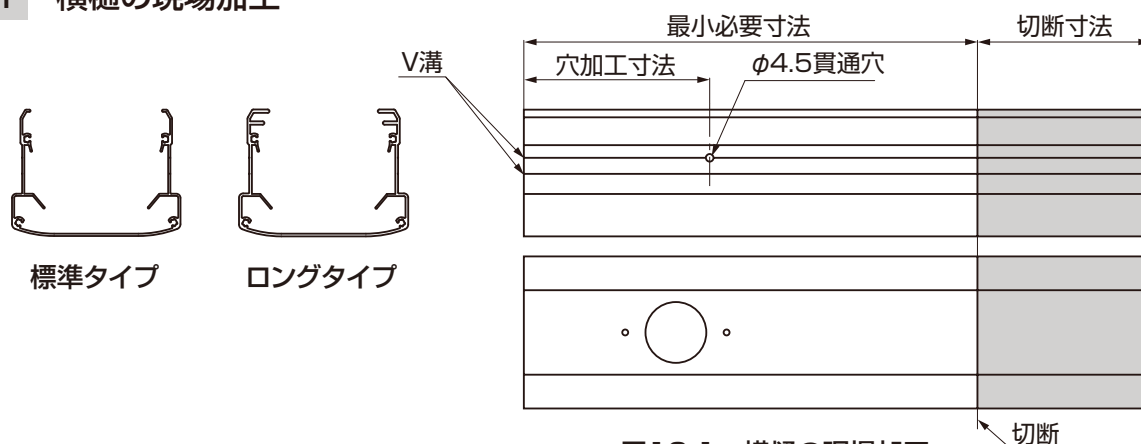


図10-1 横樋の現場加工

表10-1 単体・合掌A横樋切断寸法

	屋根の組合わせと横どいの付き方	屋根呼称X	最小必要寸法	切断寸法	穴加工寸法
単体		24	2450	600	95
		27	2750	300	95
		30	3050	0	95
		54	5400	600	110
		60	6000	0	110
合掌A		24	2750	300	95
		27	3050	0	95
		30	3350	2650	95

表10-2 合掌B横樋切断寸法

	屋根の組合わせと 横どいの付き方	屋根呼称 Y	屋根呼称X						穴加工寸法
			24		27		30		
			最小必要寸法	切断寸法	最小必要寸法	切断寸法	最小必要寸法	切断寸法	
合掌 B		24	5070	930	5370	630	5670	330	110
		27	5370	630	5670	330	5970	30	
		30	5670	330	5970	30	—	—	

①図10-1、表10-1、表10-2を参考に、施工現場に合わせて横樋を切断加工してください。

10-2 横樋端部キャップ、雨樋アタッチメントの取付け

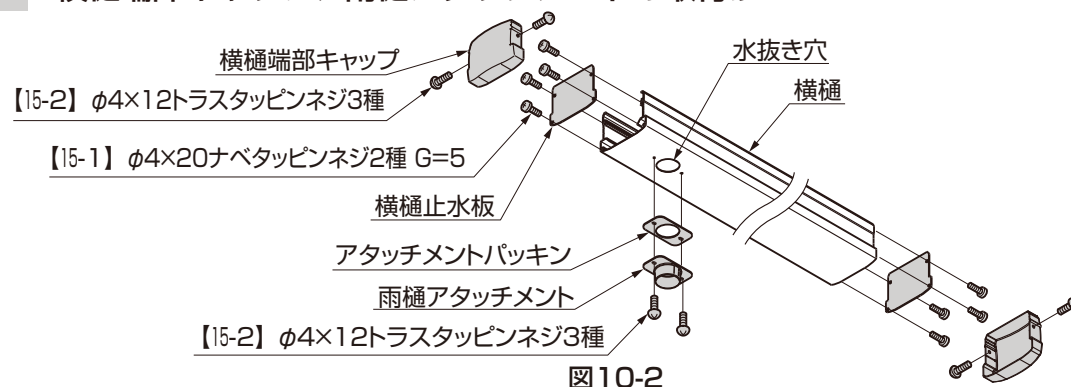


図10-2

- ①横樋の水抜き穴にアタッチメントパッキンと雨樋アタッチメントを【15-2】で取付けてください。
- ②横樋に横樋止水板を【15-1】で取付けてください。
- ③横樋に横樋端部キャップを【15-2】で取付けてください。

10-3 横樋固定部品の取付け

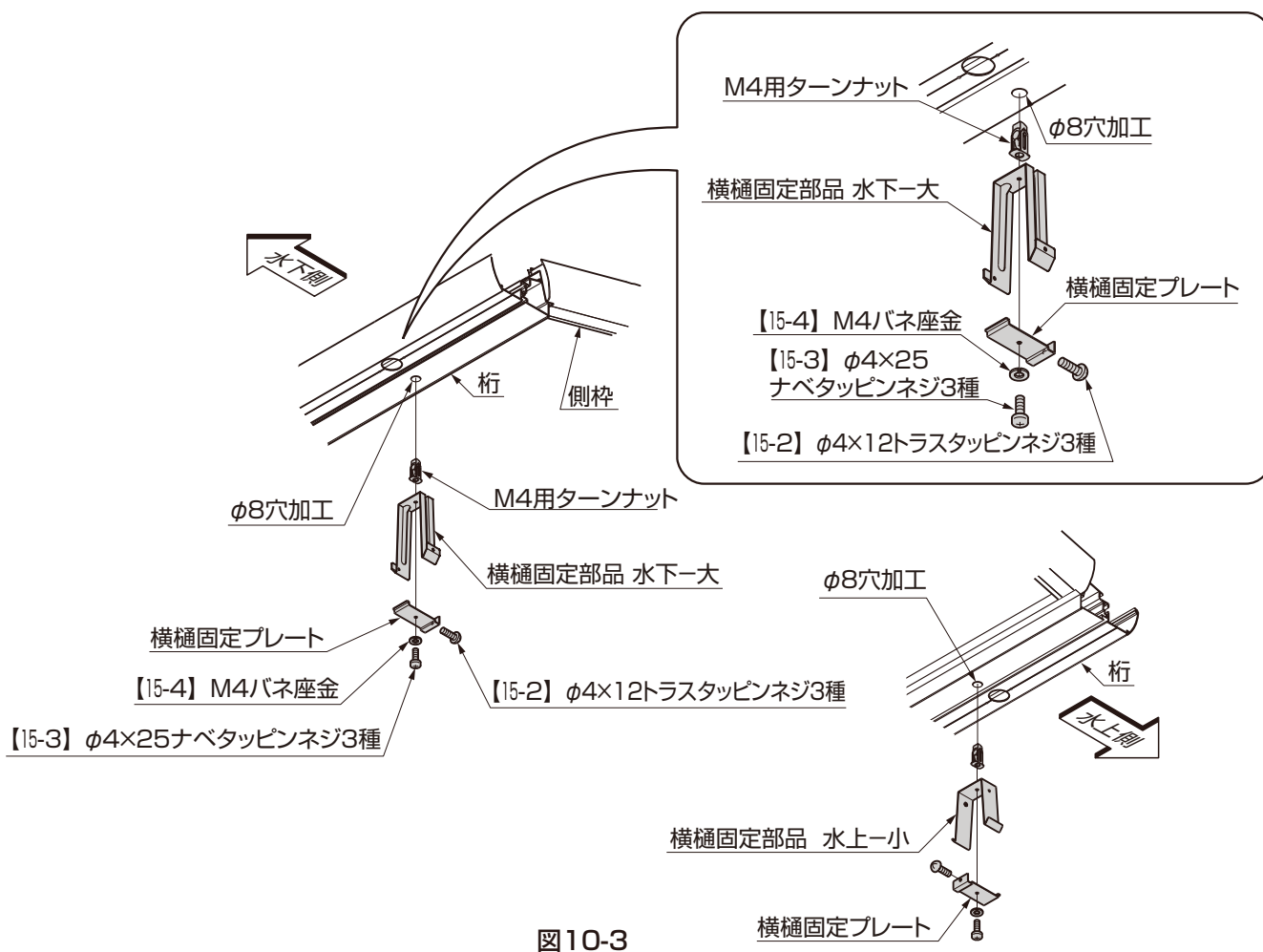


図10-3

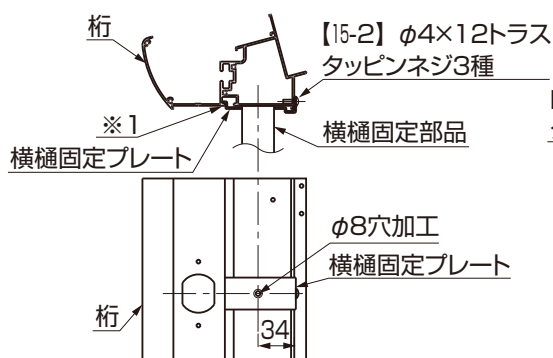


図10-4 横樋固定部品の取付け

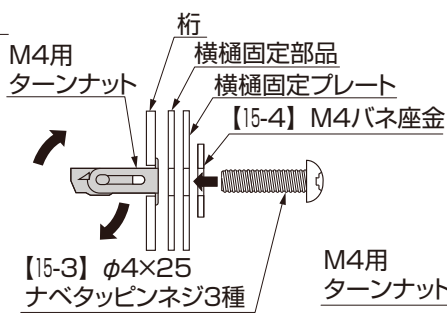


図10-5

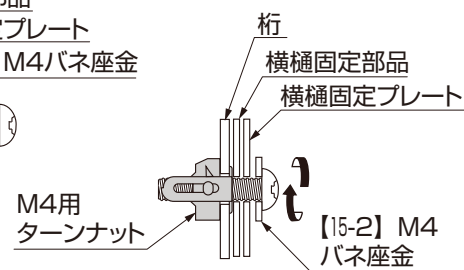


図10-6

- ① 桁にφ8の穴をあけ、M4用ターンナットを差込んで【15-4】、【15-3】、【15-4】で横樋固定部品、横樋固定プレートを取付けてください。

ポイント

- 横樋固定プレートがフィン（※1）に引っ掛かっていることを必ず確認してください。（図10-4参照）
- M4用ターンナットは、下穴に挿入して、軽く押込みながら締付けてください。（図10-5、図10-6参照）
- 横樋固定部品には水上用と水下用があります。樋を取付ける側に横樋部品 水下一大を取付けてください。

10. (つづき)

10-4 横樋の取付け ※図は標準タイプを示します。

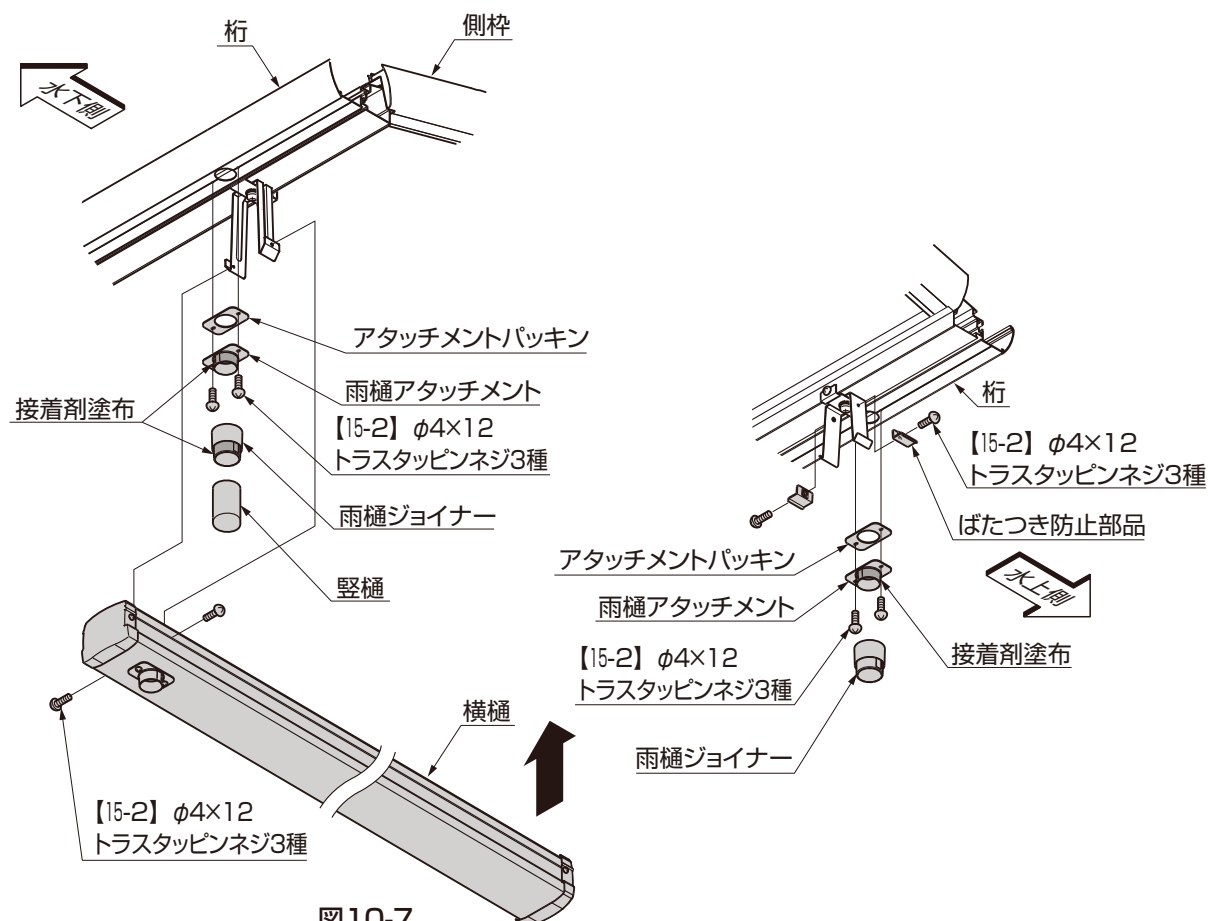


図10-7

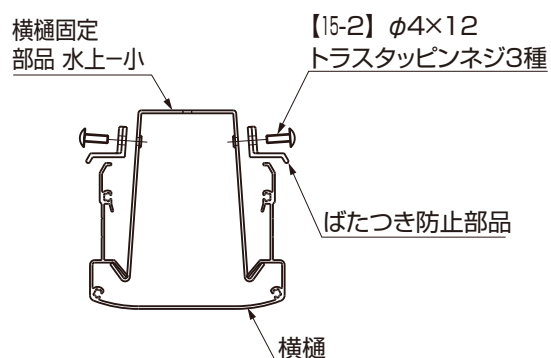


図10-8 水上側横樋取付け位置

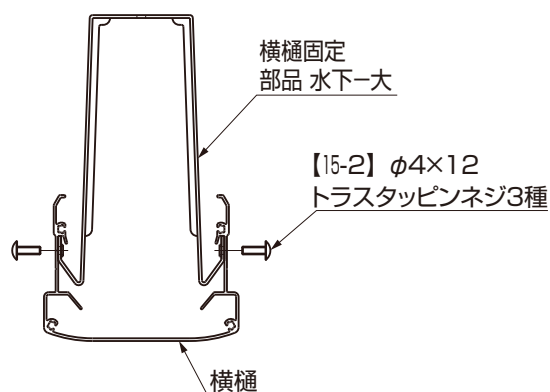


図10-9 水下側横樋取付け位置

- ① 桁にアタッチメントパッキン、雨樋アタッチメントを【15-2】で取付けてください。
- ② 水下側の雨樋アタッチメントに雨樋ジョイナーを取付けてください。
- ③ 雨樋ジョイナーに長さ65mmに切断した縦樋を取付けてください。
- ④ 横樋を横樋固定部品に【15-2】で取付けてください。

ポイント

- 水上側の横樋固定部品には、ばたつき防止部品を取付けてください。(図10-8参照)
- 横樋は水勾配がつくように取付けてください。(図10-8、図10-9参照)

ポイント

- 各本体サイズ別の横樋の組合せは、表10-4、表10-5を参照してください。
- 縦連棟および延長の場合は、各パターン×2セット御用意ください。

表10-3 樋組合せパターン

パターンA	縦樋×2	パターンD	縦樋×1、横樋ロング×1
パターンB	縦樋×1、横樋×1	パターンE	縦樋×2、横樋ロング×1
パターンC	縦樋×2、横樋×1	パターンF	縦樋×2、横樋×2

④樋の組合せパターンは、表10-3のとおりです。

表10-4 レギュラー屋根サイズ別横樋取付け一覧

タイプ	屋根サイズ	呼称計	吊り式フレームユニット						
			42	45	48	54	60	70	80
レギュラー 1台用	24	24							
	27	27							
	30	30							
レギュラー 合掌2台用	24×2	48	—	—					
	27×2	54	—	—	—				
	30×2	60	—	—	—	—			
レギュラー 合掌3台用	24×3	72	—	—	—	—	—	—	
レギュラー 1台用 + パーゴラ棧 (マルチ仕様)	24+P11	35							
	27+P11	38							
	30+P11	41							
レギュラー 1台用 + 15パーゴラ棧	24+P15	39							
	27+P15	42							
	30+P15	45	—						
レギュラー 1台用 + 18パーゴラ棧	24+P18	42							
	27+P18	45	—						
	30+P18	38	—	—					

10. (つづき)

10-4 つづき

表10-4 つづき

タイプ	屋根サイズ	呼称計	吊り式フレームユニット						
			42	45	48	54	60	70	80
レギュラー 合掌2台用 + パーゴラ棧 (マルチ仕様)	24+24+P11	59	—	—	—	—			
	27+27+P11	65	—	—	—	—	—		
	30+30+P11	71	—	—	—	—	—	—	
レギュラー 合掌2台用 + 15パーゴラ棧	24+24+15P	63	—	—	—	—	—		
	27+27+15P	69	—	—	—	—	—		
	30+30+15P	75	—	—	—	—	—	—	
レギュラー 合掌2台用 + 18パーゴラ棧	24+24+18P	66	—	—	—	—	—		
	27+27+18P	72	—	—	—	—	—	—	
	30+30+18P	78	—	—	—	—	—	—	

表10-5 ワイド屋根サイズ別横樋取付け一覧

タイプ	屋根サイズ	呼称計	吊り式フレームユニット						
			42	45	48	54	60	70	80
ワイド	54	54	—	—	—				
	60	60	—	—	—	—			
ワイド + マルチ パーゴラ棧	54+P11	65	—	—	—	—	—		
	60+P11	71	—	—	—	—	—	—	
ワイド + 15パーゴラ棧	54+P15	69	—	—	—	—	—		
	60+P15	75	—	—	—	—	—	—	
ワイド + 18パーゴラ棧	54+P18	72	—	—	—	—	—	—	
	60+P18	78	—	—	—	—	—	—	

11. 内蔵式の場合 オプション

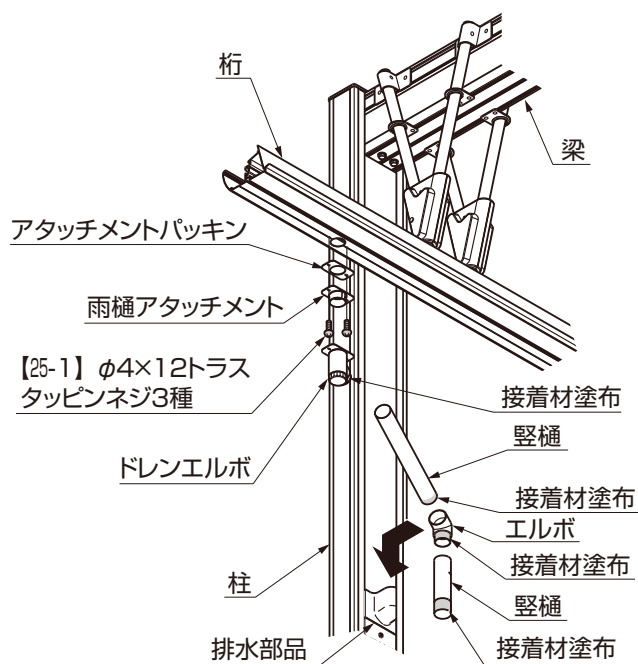


図11-1

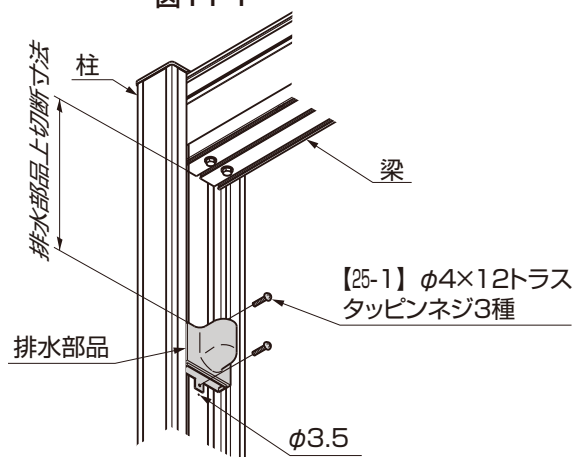


図11-2

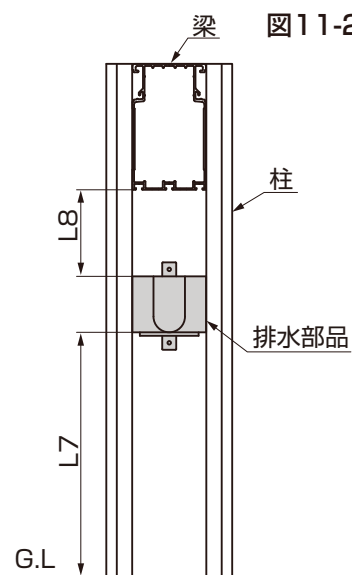


図11-3

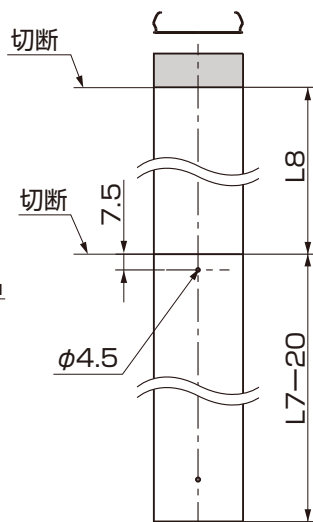


図11-4

- ①桁両端の水抜き穴のうち片方にアタッチメントパッキンと雨樋アタッチメントを【25-1】で取付けてください。
(図11-1参照)
- ②もう一方にはアタッチメントパッキンと雨樋穴ふさぎキャップを【25-1】で取付けてください。

- ③柱の任意の位置に排水部品をあてがって、柱にφ3.5の穴をあけて【22-1】で取付けてください。
(図11-2参照)
- ④排水部品下部からG.L.までの寸法L7を実測し、L7から20mm引いた寸法で柱カバーを切断して、7.5mmの位置にφ4.5の穴をあけてください。
(図11-3、図11-4参照)
- ⑤梁の下部から排水部品上部までの寸法L8を実測し、柱カバーを切断して、柱に取付けてください。
(図11-3、図11-4参照)

11. (つづき)

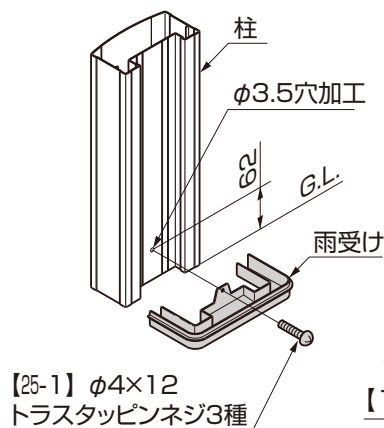


図11-5

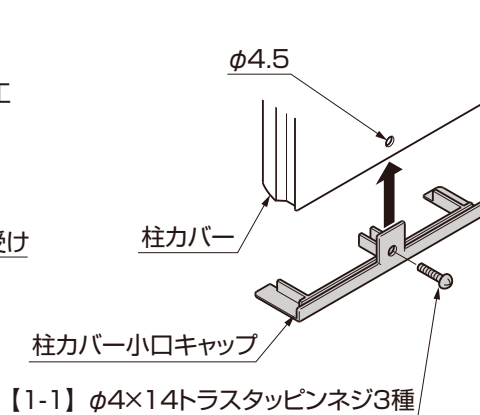


図11-6

⑥柱のG.L.から62mmの位置にφ3.5の穴をあけて、雨受けを【25-1】で取付けてください。（図11-5参照）

（図11-5参照）

⑦排水部品に取付ける柱カバーの下部に柱カバー小口キャップを【1-1】で取付けてください。この時、φ4.5の下穴をあけてください。（図11-6参照）

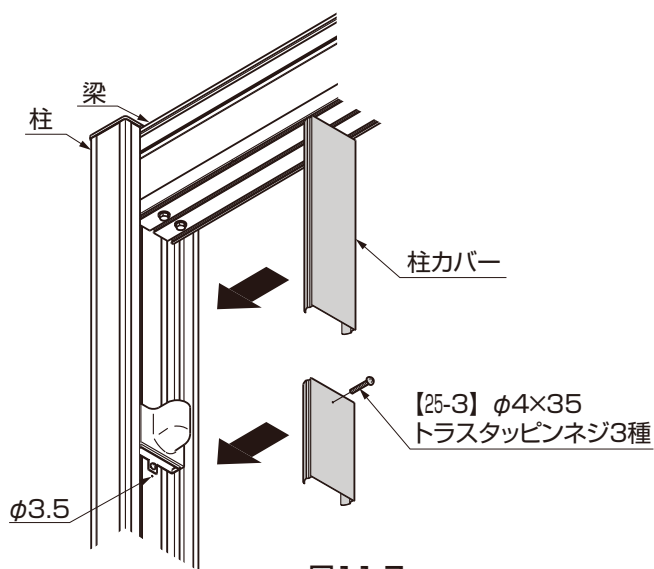


図11-7

⑧柱カバーを【25-3】で取付けてください。（図11-7参照）

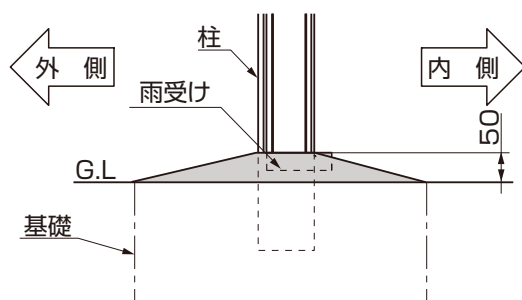


図11-8 打ち継ぎ側面図

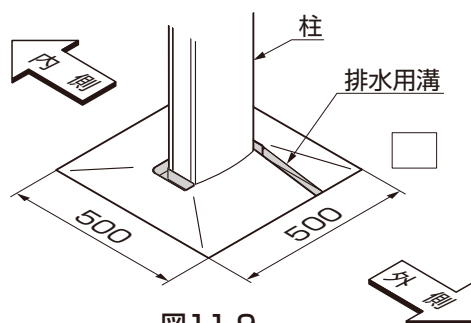


図11-9

⑨基礎部の上に50mmの厚さで打ち継ぎをしてください。この時、外側に排水用溝をあけてください。

⚠ 注意

●打ち継ぎする場合は勾配を付けてください。打ち継ぎ部に引っ掛かりケガをするおそれがあります。

🔑 ポイント

●打ち継ぎする場合は、基礎部を清掃して、散水してからモルタルを敷いて打ち継ぎをすると付着がよくなります。

4. 合掌の取付け

1. 桁の加工

1-1 桁現場加工図

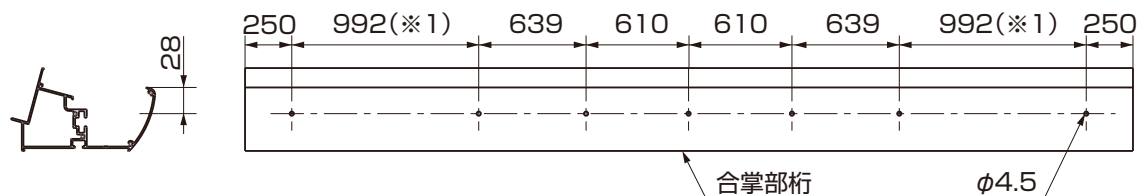


図1-1 50タイプ

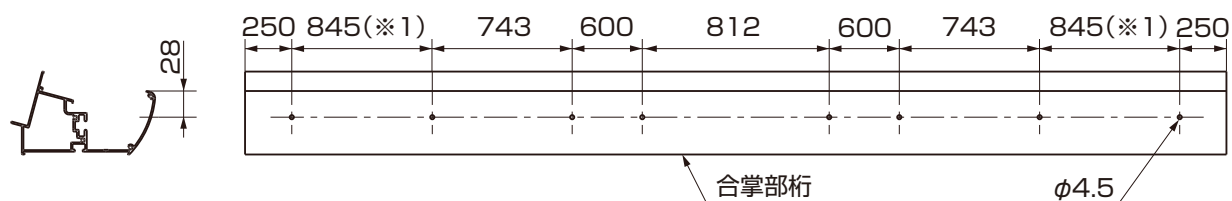


図1-2 57タイプ

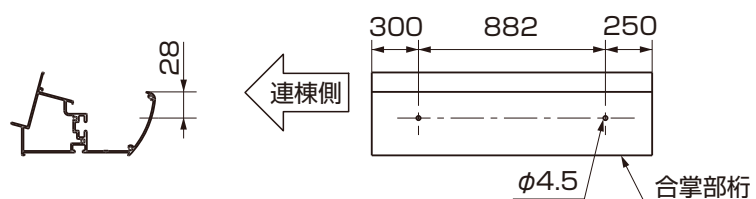


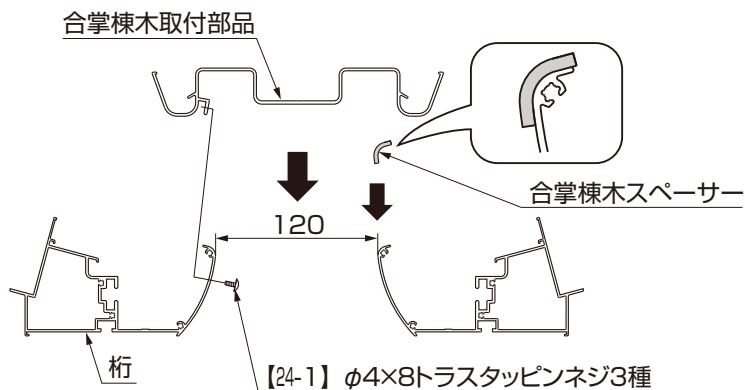
図1-3 14タイプ

①図にしたがって合掌部の桁の片側に合掌棟木取付け用の穴をあけてください。

ポイント

●柱を移動した場合、(※1)の穴加工位置も柱移動距離と同じ寸法を移動させてください。

2. 合掌の取付け



- ①合掌棟木スペーサーを穴加工していない側の桁に貼付けてください。
- ②合掌棟木取付部品を桁に【24-1】で取付けてください。
- ③図2-1または図2-2を参照して、桁の垂木部に合掌棟木スペーサーを貼付けて合掌棟木水切り部品を取付けてください。

ポイント

- 合掌棟木スペーサーは、桁の両側に貼付けてください。

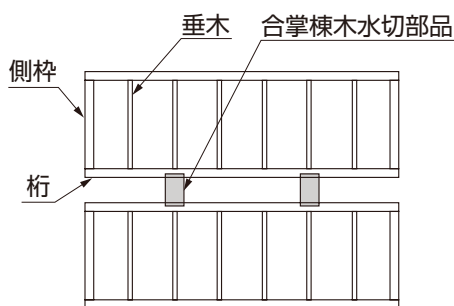
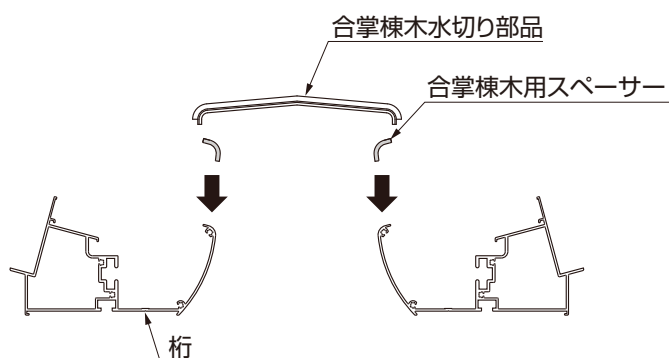


図2-1 50タイプ

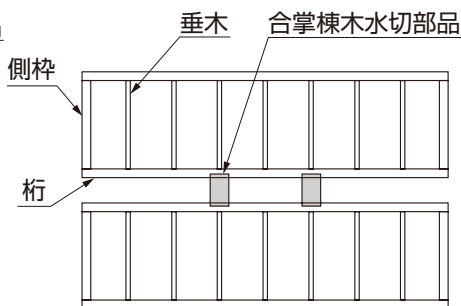
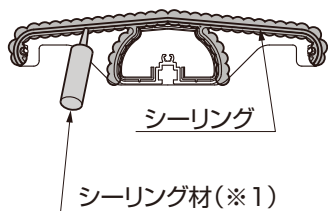


図2-2 57タイプ



【24-2】φ4×20トラス
タッピンネジ2種 G=5

合掌棟木端部キャップ

合掌棟木中間キャップ

合掌棟木

合掌棟木固定スクリュー

- ④合掌棟木に合掌棟木固定スクリューを挿入してください。
- ⑤合掌棟木に合掌棟木端部キャップを【24-2】で取付けて、シーリングしてください。

ポイント

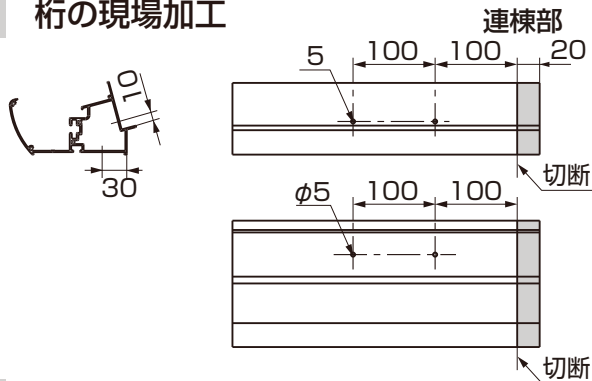
- 同梱のブチルシーリングを使用してください。(※1)

- ⑥合掌棟木を桁と桁の間にのせて、合掌棟木固定スクリューを合掌棟木取付部品に固定してください。

5 連棟の取付け

1. 連棟の取付け

1-1 桁の現場加工

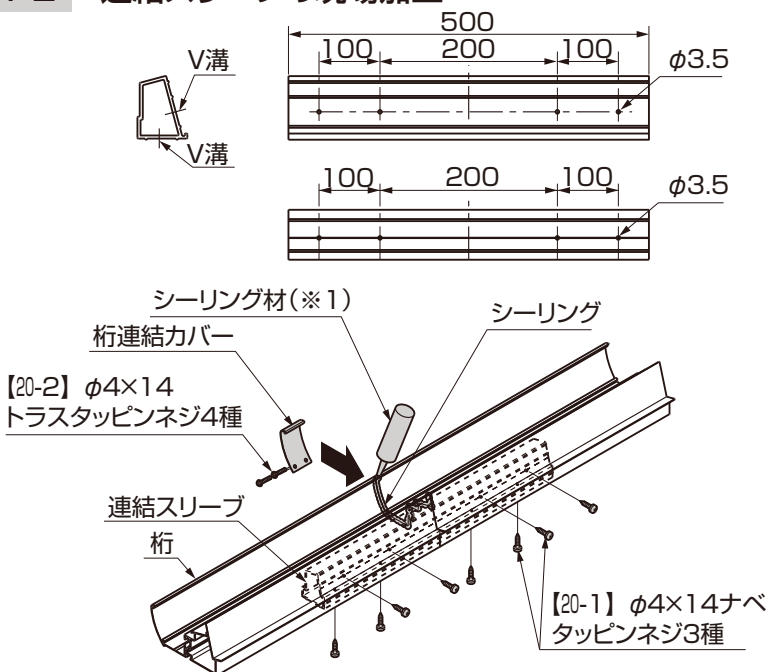


①図を参照して、桁を切断して穴加工をしてください。

補足

- 基本寸法は標準と同じです。「1 基本寸法と各部名称 2基本寸法」を参照してください。

1-2 連結スリーブの現場加工



①図を参照して、連結スリーブに穴加工をしてください。

②連結スリーブと桁を【20-1】で固定してください。

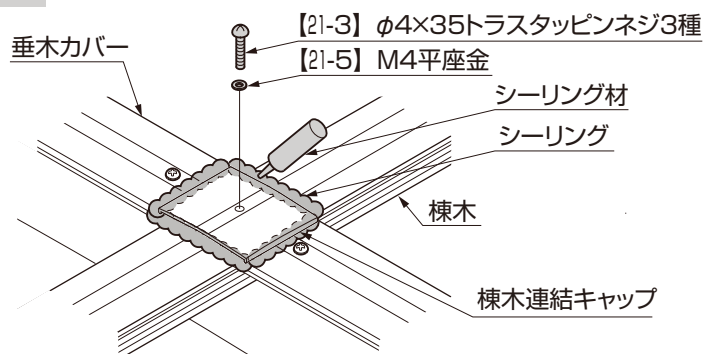
③桁雨樋部の外側に桁連結力バーを【20-2】で取付けてください。

補足

- 指定の個所にシーリングしてください。
- 同梱のプチルシーリングを使用してください。(※1)

④桁の雨樋部をシーリングしてください。

1-3 棟木連結部シーリング箇所 ※ワイド屋根の場合の作業です。



⑤棟木に棟木連結キャップを【21-3】、【21-5】で取付けてください。

⑥垂木カバー取付けた後で、すき間をシーリングしてください。

補足

- シリコンシーリングを行う場合は当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。(表1-1参照)

表1-1 指定のシーリング材

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960

6 梁化粧カバーの取付け

オプション

※梁化粧カバーは置式梁に取付けできません。

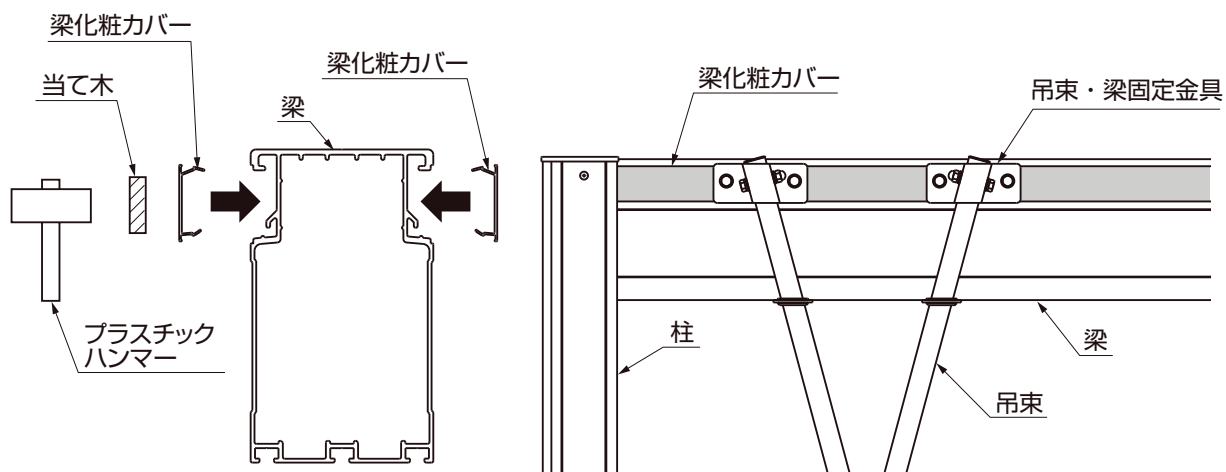


図6-1 吊り式梁

①梁化粧カバーを吊束・梁固定金具の取付け位置に合わせて切断してはめ込んでください。

ポイント

- 梁化粧カバーには、はめ込む向きがあります。
- 梁化粧カバーがへこまないように当て木をして、プラスチックハンマーでたたき込んでください。